



大田区基本構想の実現に向けた

リーディング・プロジェクト



～新おおた重点プログラム令和6年3月更新～

令和6年3月

大田区



新たな大田区基本構想の実現に向けて

不確実性の高い時代においても、誰もが安心でき、夢や希望を抱きながら笑顔で暮らすことができるまちをつくり上げていくためには、大田区に関わるすべての人々の共通の目標となりうる、確かな羅針盤が必要となります。

区は、令和5年7月に大田区基本構想審議会を設置して新たな基本構想についての検討を始め、審議会から議論の集大成である答申をいただいた後、本年3月5日の区議会において議決をいただき、新たな基本構想を策定いたしました。

この新たな基本構想で掲げた将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」は、これまで築いてきた地域のつながりを大切にし、誰もが安心して心穏やかな日々を送ることができ、未来に夢や希望をもって、笑顔で暮らすことができるまちをめざすものです。

また、将来像を実現するためのまちの姿として、分野ごとに4つの基本目標を定め、それぞれがめざすべきまちの姿を掲げています。

今後は、新たな基本構想の実現に向け、基本計画を令和6年度中に策定してまいります。基本計画策定までの間についても、基本構想実現に向けた第一歩を力強く踏み出していくために、基本構想で掲げた将来像や基本目標の実現を先導的に推進する取組を「リーディング・プロジェクト」として位置付けました。

令和6年度は、この「リーディング・プロジェクト」を中心に、大田区に関わるすべての主体と連携・協働しながら、「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。



令和6年3月
大田区長

鈴木晶雅

目次

第1章 総論

第1節 計画の位置付け	2
1 計画の構成	
2 計画の期間	
3 他の計画との関係	
第2節 基本構想・基本計画の策定の流れ	4
1 基本構想・基本計画の策定の流れ	
第3節 大田区基本構想	5
1 将来像	
2 将来像と基本目標の関係について	
3 基本目標の構成	
第4節 リーディング・プロジェクト	8
1 リーディング・プロジェクトとは	

第2章 リーディング・プロジェクト

リーディング・プロジェクト一覧	10
「第2章 リーディング・プロジェクト」の構成及び見方	11
基本目標①	12
基本目標②	24
基本目標③	34
基本目標④	44
基本目標全体に係るリーディング・プロジェクト	54

第1章

総論

第1節 計画の位置付け

1 計画の構成

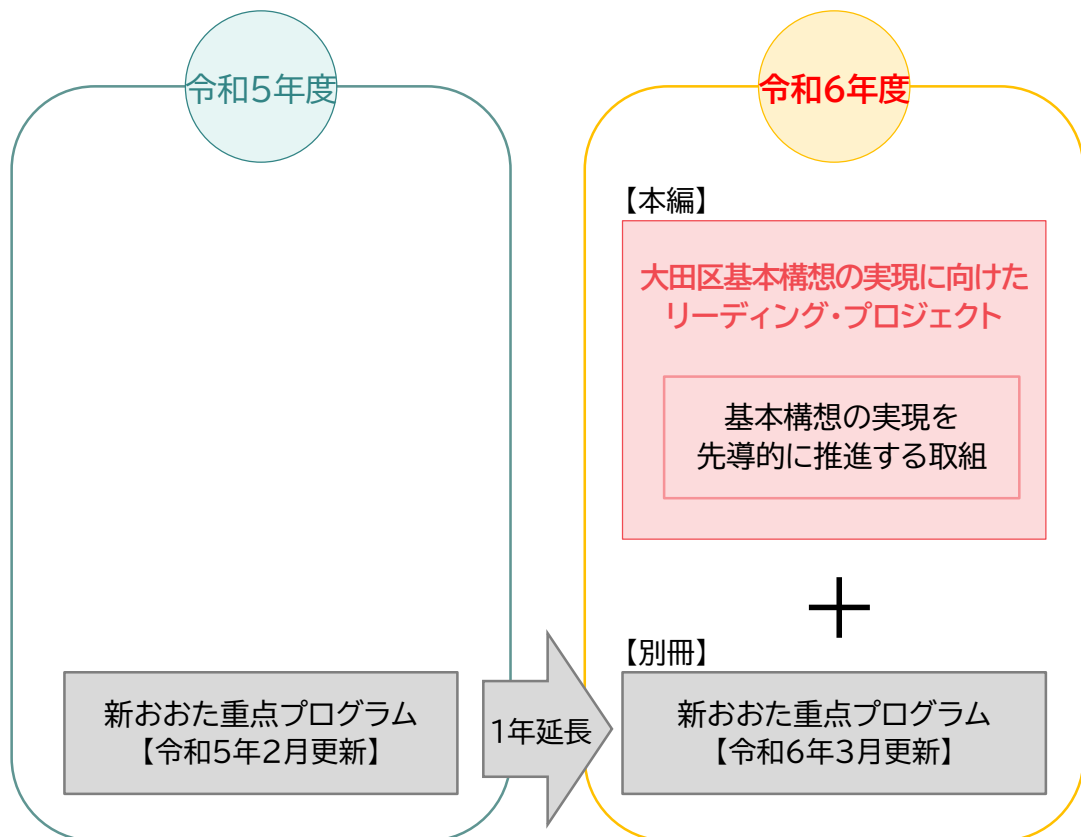
区は、令和6年3月に大田区基本構想を策定しました。基本構想の実現に向けた基本計画は令和6年度内に策定予定ですが、現在の基本構想直下の計画である「新おおた重点プログラム」は、当初令和2年度から令和5年度までを計画期間としていました。

そこで、新たな基本計画策定までの間、着実に区政を運営し、基本構想の実現に向けた最初の歩みを進めるため、「新おおた重点プログラム」を1年延長しました。その中で、基本構想で掲げた将来像や基本目標の実現を先導的に推進する取組を「リーディング・プロジェクト」として位置付けています。

本計画は、主に「リーディング・プロジェクト」を掲載する本編と「新おおた重点プログラム」の内容を更新した別冊の2冊構成となっています。

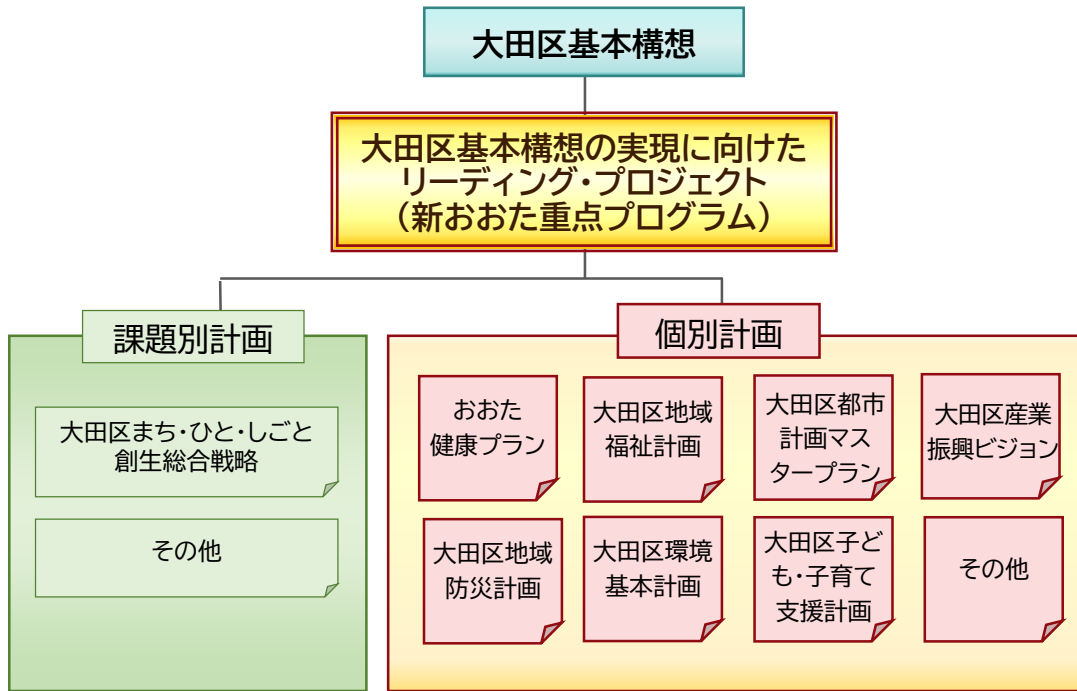
2 計画の期間

本計画の期間は、令和7年3月31日までとします。



3 他の計画との関係

本計画は、基本構想の直下に置き、広く区政全般の方向性を示す計画として、各種課題別・個別計画等との整合・連携を図ることとします。



第2節 基本構想・基本計画の策定の流れ

1 基本構想・基本計画の策定の流れ

区は、基本構想審議会及び専門部会における議論や基本構想の策定に向けたアンケート、ワークショップ等を通じていただいた区民の皆様のご意見を踏まえ、令和5年12月に大田区基本構想(素案)を作成しました。その後、素案に対するパブリックコメントを経て、令和6年3月に新たな大田区基本構想を策定しました。

基本構想の内容を踏まえ、令和6年度は基本構想で描いた将来像を実現するための施策等をまとめた基本計画及び実施計画を策定します。

令和5年度

基本構想の策定

- 基本構想審議会・専門部会(計11回)
- アンケート
- ワークショップ
- パブリックコメント
- 区民説明会



【審議会】



【ワークショップ】

令和6年
3月

- 基本構想の策定・公表
- 大田区基本構想の実現に向けたリーディング・プロジェクトの策定・公表

令和6年度

基本計画・実施計画の策定

- 基本計画懇談会の設置
- 令和6年度中に策定予定



第3節 大田区基本構想

1 将来像

基本構想では、2040年ごろ(令和22年ごろ)の大田区のあるべき姿として、「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を将来像として掲げています。



令和6年3月策定

【将来像】

**心やすらぎ 未来へはばたく
笑顔のまち 大田区**

これまで築いてきた地域のつながりを大切にし、暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人の誰もが、安心して心穏やかな日々を送ることができるまちをつくります。また、こどもから大人まで、誰もが夢や希望をもち、未来を切り拓くことができる活力あるまちをつくります。日々のやすらぎと未来への希望により、笑顔があふれるまちの実現をめざし、「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を将来像として掲げます。

2 将来像と基本目標の関係について

将来像を実現するためのまちの姿として、4つの基本目標を定めています。また、基本構想全体を貫き、将来像や基本目標を実現していく上での基本的な考え方として3つの基本理念を掲げています。

基本理念（基本構想全体を貫く考え方）

地域力を
高める

多様な個性が
輝く

豊かなまちを
未来へつなげる

将来像

心やすらぎ 未来へはばたく
笑顔のまち 大田区

基本目標（将来像を実現するためのまちの姿）

1

未来を創り出す
こどもたちが
夢と希望をもって
健やかに育つまち

2

文化を
伝え育み
誰もが笑顔で
いきいき暮らすまち

3

豊かな環境と
産業の活力で
持続的に
発展するまち

4

安全・安心で
活気と
やすらぎのある
快適なまち

3 基本目標の構成

各基本目標は、将来像を実現するためのまちの姿を表すフレーズに加え、その説明文と6つのまちの姿から構成されています。例えば、基本目標①では、以下となります。

基本目標

(将来像を実現するためのまちの姿) ▼フレーズ

1

未来を創り出す子どもたちが
夢と希望をもって健やかに育つまち

子どもたちが、よりよい未来を創り出す力を持ち、笑顔で元気に育つことが、大田区の明るい未来へとつながります。また、子どもたちが豊かな愛情に包まれ、自分らしく成長することにより、まちは思いやりと活気に満ちあふれます。明るく活力のある社会を築くためにも、子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまちをめざします。

▲説明文

▼まちの姿

子どもの権利が守られ、
子どもたちが将来に希望をもって育っています。

▼まちの姿

子どもたちが安全・安心で
自分らしく過ごせる居場所や
楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

▼まちの姿

子どもたちをあたたかいまなざしで包み、
子どもの声に耳を傾けながら、
地域全体で子育て・子育てを支えています。

▲まちの姿

希望する誰もが、安心して子どもを産み、
育てることができ、
子どもたちが愛情を注がれて
健やかに成長しています。

▲まちの姿

世界の人々と積極的に関わりながら、
よりよい未来を創り出す
人材が育っています。

▲まちの姿

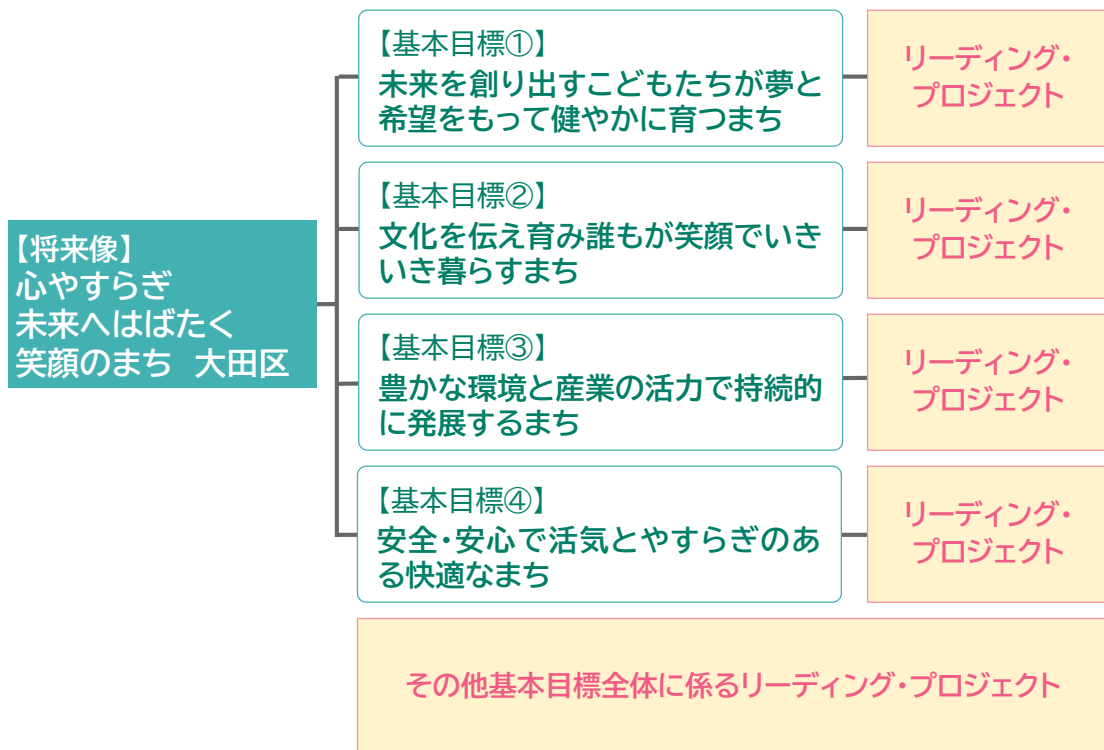
一人ひとりに
寄り添う学びにより、
すべての子どもが
自分らしく輝いています。

※各基本目標の詳細は、第2章P12～13、P24～25、P34～35、P44～45に掲載しています。

第4節 リーディング・プロジェクト

1 リーディング・プロジェクトとは

リーディング・プロジェクトとは、基本構想で掲げた将来像や基本目標の実現を先導的に推進する取組です。本計画では、リーディング・プロジェクトを4つの基本目標ごとにまとめるとともに、4つの基本目標全体に係る取組も掲載しています。



第2章

リーディング・ プロジェクト

リーディング・プロジェクト一覧

<リーディング・プロジェクト一覧>

	対応する 基本目標	リーディング・プロジェクト名	ページ数
1	基本目標①	こどもたちの居場所づくり	P14
2		(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの開設に向けた取組	P15
3		地域で支える子育て世帯の孤独・孤立対策	P16
4		コミュニティ・スクールの推進	P17
5		妊娠期からの切れ目のない支援	P18
6		STEAM教育の推進	P20
7		国際教育の推進	P21
8		確かな学力をはぐくむ取組の推進	P22
9		自分らしくいきいきと生きるための学びの支援	P23
10	基本目標②	分野横断の包括的支援体制の強化	P26
11		自分らしく輝けるまちづくり	P28
12		学びの充実と学びを支える環境整備	P29
13		健康づくり活動の推進	P30
14		文化とふれあう機会の創出	P32
15		Minto Otaを軸とした多文化共生の推進	P33
16	基本目標③	環境にやさしい事業活動の推進	P36
17		カーボンオフセットを活用した行動変容促進	P37
18		次世代エネルギーの社会実装を見据えた実証的取組の推進	P38
19		循環型社会の実現に向けた取組	P39
20		区内企業の自己変革への支援	P40
21		ものづくりの次世代への承継と立地支援	P41
22		新たな挑戦への支援と企業同士の交流・連携機会の創出	P42
23		魅力ある観光資源の創出・発信	P43
24	基本目標④	心から安心できるまちづくり	P46
25		新空港線整備と区内交通の改善	P48
26		鉄道沿線のまちづくり	P49
27		だれもが訪れたくなる公園・緑地づくり	P50
28		水とみどりを活かしたまちづくり	P52
29		空家等対策の推進	P53
30	基本目標 全体	シティプロモーションの推進	P54
31		窓口のデジタル化推進	P55
32		区民活動団体等との連携・協働	P56
33		公民連携の推進	P57

「第2章 リーディング・プロジェクト」の構成及び見方

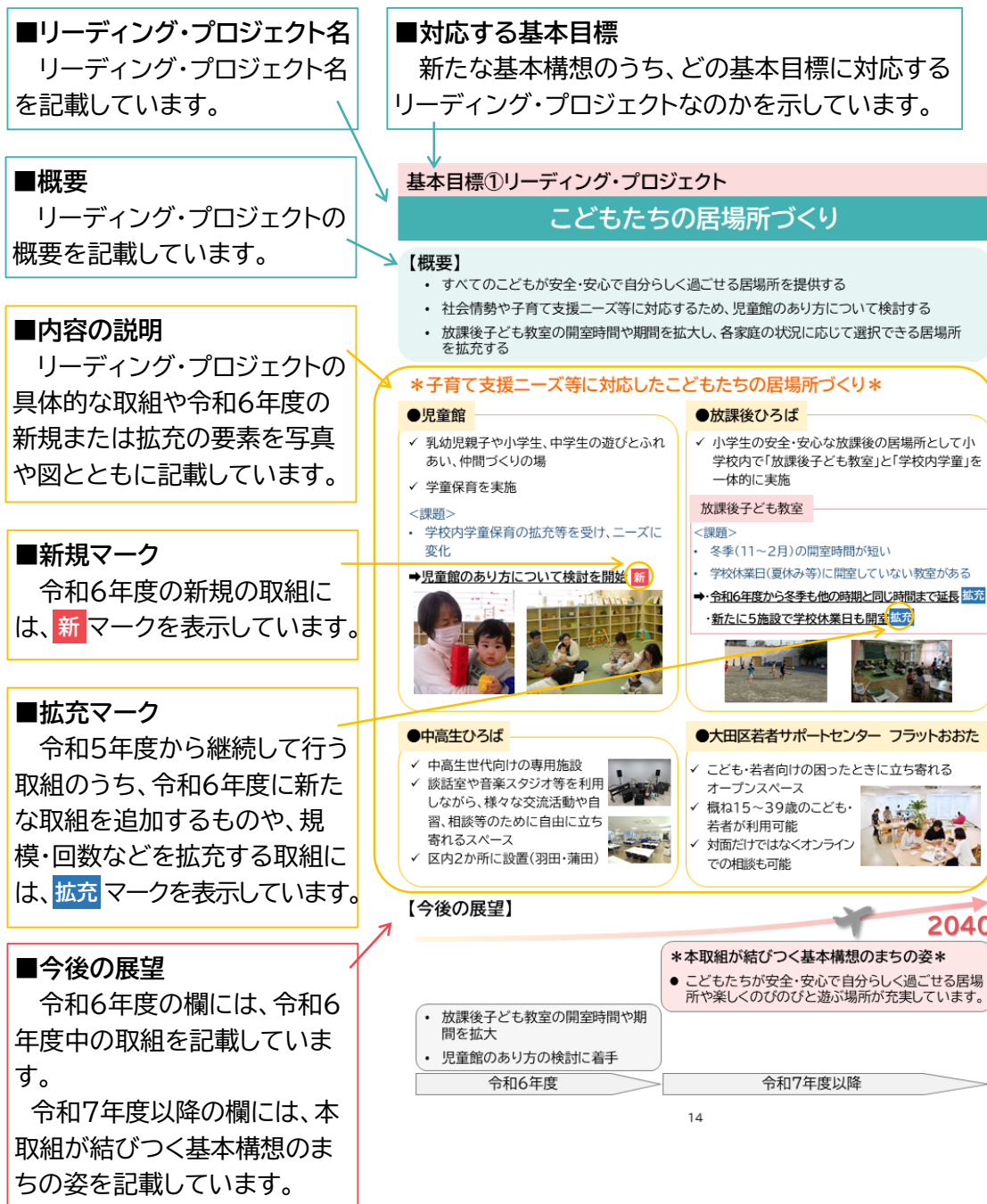
1 構成

第2章は、「基本構想の基本目標ページ」と「リーディング・プロジェクトページ」の2つのパートで構成しています。

「基本構想の基本目標ページ」では、新たな基本構想の中の、基本目標のページと同じものを掲載しています。

「リーディング・プロジェクトページ」では、事業概要や具体的な取組内容、今後の展望を写真や図とともに記載しています。

2 「リーディング・プロジェクトページ」の見方



基本目標

(将来像を実現するためのまちの姿)

1 } **未来を創り出す子どもたちが 夢と希望をもって健やかに育つまち**

子どもたちが、よりよい未来を創り出す力を持ち、
笑顔で元気に育つことが、大田区の明るい未来へとつながります。
また、子どもたちが豊かな愛情に包まれ、自分らしく成長することにより、
まちは思いやりと活気に満ちあふれます。
明るく活力のある社会を築くためにも、
子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまちをめざします。



こどもの権利が守られ、

子どもたちが将来に希望をもって

育っています。



子どもたちが安全・安心で

自分らしく過ごせる居場所や

楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

お手伝い
しましょうか？



子どもたちをあたたかいまなざしで包み、
こどもの声に耳を傾けながら、
地域全体で子育て・子育てを支えています。



世界の人々と積極的に関わりながら、
よりよい未来を創り出す
人財が育っています。



希望する誰もが、安心して子どもを産み、
育てることができ、
子どもたちが愛情を注がれて
健やかに成長しています。

一人ひとりに
寄り添う学びにより、
すべての子どもが
自分らしく輝いています。



こどもたちの居場所づくり

【概要】

- すべてのこどもが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所を提供する
- 社会情勢や子育て支援ニーズ等に対応するため、児童館のあり方について検討する
- 放課後子ども教室の開室時間や期間を拡大し、各家庭の状況に応じて選択できる居場所を拡充する

子育て支援ニーズ等に対応したこどもたちの居場所づくり

●児童館

- ✓ 乳幼児親子や小学生、中学生の遊びとふれあい、仲間づくりの場
- ✓ 学童保育を実施

<課題>

- 学校内学童保育の拡充等を受け、ニーズに変化

➔児童館のあり方について検討を開始 **新**



●放課後ひろば

- ✓ 小学生の安全・安心な放課後の居場所として、小学校内で「放課後子ども教室」と「学校内学童」を一体的に実施

放課後子ども教室

<課題>

- 冬季(11~2月)の開室時間が短い
- 学校休業日(夏休み等)に開室していない教室がある

➔令和6年度から冬季も他の時期と同じ時間まで延長 **拡充**

- 新たに5施設で学校休業日も開室 **拡充**



●中高生ひろば

- ✓ 中高生世代向けの専用施設
- ✓ 談話室や音楽スタジオ等を利用しながら、様々な交流活動や自習、相談等のために自由に立ち寄れるスペース
- ✓ 区内2か所に設置(羽田・蒲田)



●大田区若者サポートセンター フラットおおた

- ✓ こども・若者向けの困ったときに立ち寄れるオープンスペース
- ✓ 概ね15~39歳のこども・若者が利用可能
- ✓ 対面だけでなくオンラインでの相談も可能



【今後の展望】



本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- こどもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

- 放課後子ども教室の開室時間や期間を拡大
- 児童館のあり方の検討に着手

令和6年度

令和7年度以降

(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの開設に向けた取組

【概要】

- ・ (仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの令和8年度中の開設をめざす
- ・ 児童相談所・一時保護所・子ども家庭支援センターを一体的に整備し、こどもたちの生きる権利や育つ権利を守り、虐待防止対策を強化する

* (仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの開設 *



(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター外観イメージ
○建設地:大森西二丁目3番

設置の目的

- 児童相談所の専門機能をより身近に
- 虐待の予防から対応まで切れ目のない支援
- 地域連携による細やかな支援

整備する機能と方向性

- 児童相談所、一時保護所、子ども家庭支援センター機能を同一建物に整備
- (仮称)大田区子ども家庭総合支援センターについては、東京都の児童相談所、一時保護所と、区の子ども家庭支援センターが連携強化し、更なるこども家庭相談支援体制の充実を図る

【今後の展望】



2040

- ・ 施設の建築工事(～令和7年度)
- ・ 運営体制の検討(～令和7年度)

令和6年度

* 本取組が結びつく基本構想のまちの姿 *

- こどもの権利が守られ、こどもたちが将来に希望をもって育っています。
- 希望する誰もが、安心してこどもを産み、育てることができ、こどもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。

令和7年度以降

地域で支える子育て世帯の孤独・孤立対策

【概要】

- 子育て家庭に対し、民間団体等による地域人材を活用した定期的な見守り訪問と、傾聴・協働による伴走支援を実施することにより、子育て世帯の孤立化の防止・虐待の未然防止につなげる
- 令和5年度は先行実施として、乳幼児100名を訪問した <モデル自治体の先駆的取組>
- 令和6年度からは、生後6か月から12か月までの乳幼児(第一子)がいる家庭への全戸訪問と、希望者への伴走支援を実施する

ファミリーアテンダント事業 新

対象:生後6か月から12か月までの乳幼児(第一子)

●見守り訪問

- ✓ 対象家庭への毎月1回の全戸訪問(最大7回)
- ✓ 玄関先での声かけ
- ✓ 子育て支援品の提供
- ✓ 行政・地域の子育て情報の提供



●伴走支援

- ✓ 希望者に支援
- ✓ 保護者の話の傾聴
- ✓ 区施設等への同行
- ✓ 家事育児のサポート



子育て世帯の孤立化の防止・虐待の未然防止

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- こどもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・育ちを支えています。

- 全戸訪問開始
- 希望家庭への伴走支援

令和6年度

令和7年度以降

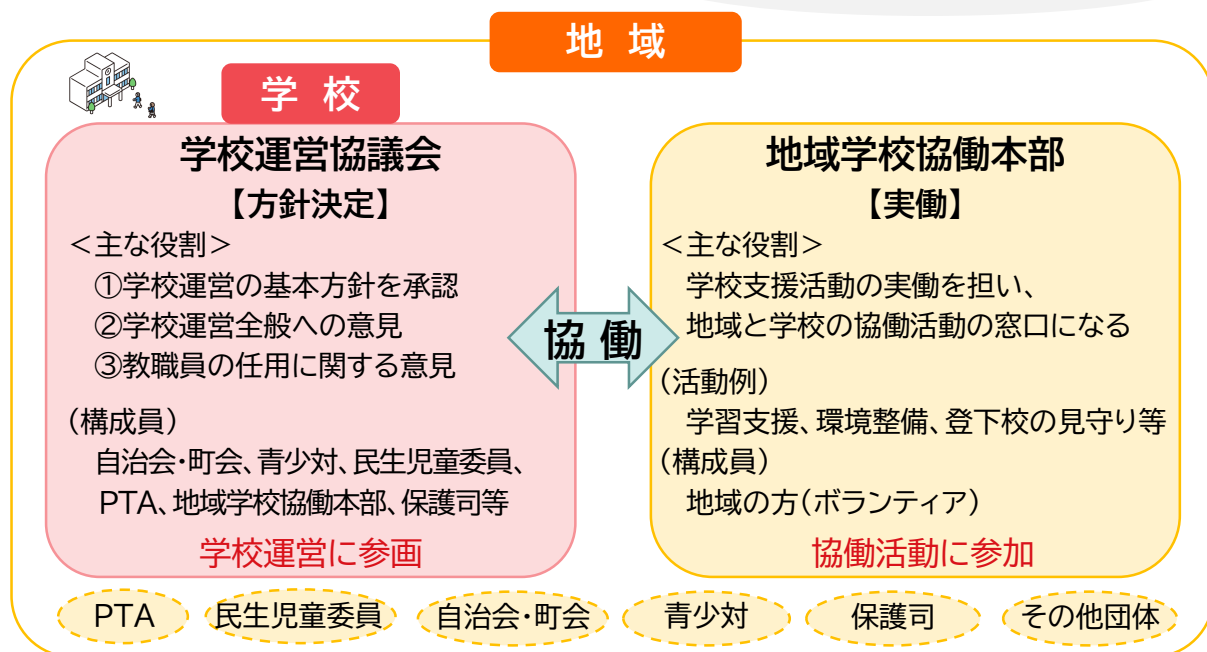
コミュニティ・スクールの推進

【概要】

- コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置して学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める仕組み
- 令和5年度までの18校に、令和6年度から新たに13校を加え、合計31校で導入予定

コミュニティ・スクールの仕組み

令和6年度に新たに13校で導入予定 **拡充**



コミュニティ・スクールの取組例

入新井第二小学校

- ✓ 車いす体験・白杖体験の実施



東糞谷小学校

- ✓ 地域の工場を見学し、工具や機器を実際に使用



雪谷中学校

- ✓ コラボイベント「雪中祭り」の実施



【今後の展望】



本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- こどもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。

- 新たに13校で導入予定
- 地域学校協働活動の拡充

令和6年度

令和7年度以降

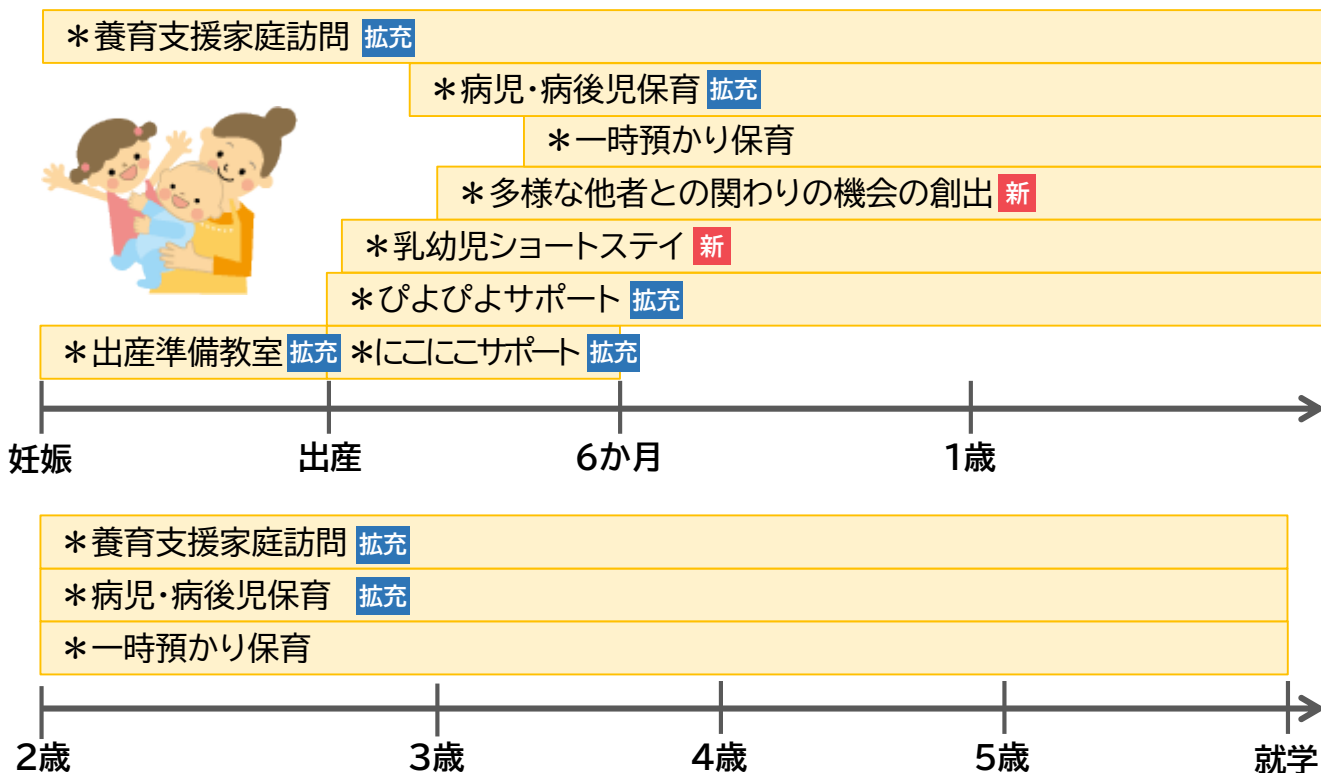
妊娠期からの切れ目のない支援

【概要】

- 妊娠・出産から子育てまで、切れ目のない支援を提供する
- 令和6年度から乳幼児ショートステイ(生後5日から2歳未満までの乳幼児の宿泊を伴う一時的な預かり)を実施する(令和5年度までは満2歳から15歳(中学生)までが対象)
- にこにこサポートは双子などの場合に利用時間の上限を緩和し、ぴよぴよサポートは利用料金の減額を行い、より利用しやすい制度に変更する

* 妊娠期からの切れ目のない支援 *

他にも様々な事業があります！



● 出産準備教室

- ✓ 妊婦やそのパートナーの方とともに、妊娠中や出産のこと、育児のことについて、学ぶ教室
- ✓ 赤ちゃんの入浴や着替えの方法の学習や区のサービスの紹介を実施
- ✓ 令和6年度から実施回数を増加 拡充



● にこにこサポート・ぴよぴよサポート

- ✓ にこにこサポートは、産後ドゥーラ*の資格を持つ支援員が自宅を訪れ、産後の家事・育児を手伝うとともに、子育ての相談を受けるサービス
- ✓ ぴよぴよサポートは、産後の家事・育児の負担の軽減を目的に、ヘルパー・助産師を低額で利用できるサービス
- ✓ 令和6年度から、にこにこサポートは双子などを養育する場合の利用時間の上限を緩和し、ぴよぴよサポートは利用料金を1000円/時から500円/時に減額 拡充



*産後ドゥーラ:産後間もない時期の産婦に寄り添い、家事や育児をサポートする専門家

基本目標①リーディング・プロジェクト

●乳幼児ショートステイ 新

- ✓ 乳児院において、保護者の入院、出産、出張、冠婚葬祭等の際に、生後5日から2歳未満までの乳幼児の宿泊を伴う一時的な預かりを開始
- ✓ 最大6泊7日まで利用可能



●一時預かり保育・ 多様な他者との関わりの機会の創出 新

- ✓ 子育てに係る保護者の負担を軽減するため、保育所等において、利用の理由を問わずに時間単位での一時的な預かりを実施
- ✓ 多様な他者との関わりの中での様々な体験や経験を通して、こどもの健やかな育ちを支援するため、0～2歳の未就園児を対象に、保育所等での定期的な預かりを開始



●病児・病後児保育

- ✓ 仕事を休むことが難しい保護者への支援として、病気等で一時的に通園できない児童を対象に、医療機関に併設された専用スペースまたは医療機関と提携した保育室の専用スペースでの預かりを実施
- ✓ 令和6年度から既存施設において11名の定員増加 拡充
- ✓ 馬込地区に新規施設を開設予定 拡充



●養育支援家庭訪問

- ✓ 支援が必要な家庭に対し、養育が適切に行われるよう助産師・家事育児ヘルパー・育児サポーターを派遣し、養育に関する相談や指導、家事・育児支援を実施
- ✓ 令和6年度から対象者を中高生世代を養育する世帯まで拡大し、ヤングケアラーを含む幅広い生活支援を強化 拡充
- ✓ 従来の上限12回の訪問支援に加えて、特に必要性が高い家庭に対し、家事育児ヘルパー派遣の頻度を増やすことができる継続的な家事・育児支援を開始 拡充



【今後の展望】

- 乳幼児ショートステイを開始
- 保護者の就労等の有無にかかわらず、児童を定期的に預かる事業を新たに実施

令和6年度

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 希望する誰もが、安心してこどもを産み、育てることができ、こどもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。

令和7年度以降

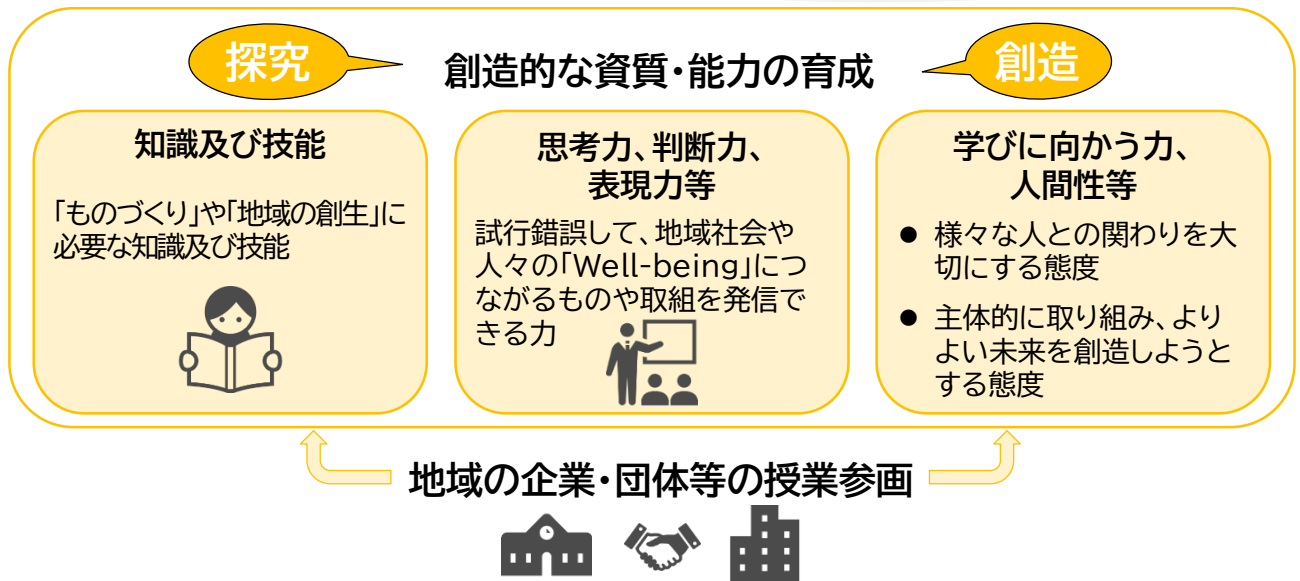
STEAM教育の推進

【概要】

- ・ 令和7年度に大田区独自教科である「おおたの未来づくり」を新設（全小学校5・6年生対象）
- ・ 未来を創り出す「創造的な資質・能力」の育成をめざす
- ・ 令和5年度までの16校に、令和6年度から新たに14校を加え、合計30校で教科新設に向けた研究実践を実施予定

教科「おおたの未来づくり」

令和6年度に新たに14校で実施予定 **拡充**



教科「おおたの未来づくり」の授業事例

事例1:新しい清涼飲料水の開発

- ① 企業:新商品の開発という課題を提示
- ② 児童:商品のアイデアを創出し、試作品を作成
- ③ 児童:商品をプレゼンテーション
- ④ 企業:児童にフィードバック



事例2:町工場の魅力をCMで発信

- ① 児童:ものづくりのまち大田の特長を学ぶ
- ② 児童:町工場を取材
- ③ 児童:伝えたいテーマを決めてCMを作成し、町工場にプレゼンテーション
- ④ 町工場:児童にフィードバックし、HPへの掲載等により、CMを活用する



【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。

- ・ 合計30校で研究実践を実施
- ・ 教科用図書が発行準備

令和6年度

令和7年度以降

国際教育の推進

【概要】

- 大森東小学校及び羽田中学校において、外国語活動、外国語科などの英語の授業を中心に、国際教育の研究実践を行うおおたグローバルコミュニケーション(OGC)を実施
- 体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)」での校外学習を拡充し、英語でのコミュニケーション能力や豊かな国際感覚を養う
- 外国語教育指導員(ALT)の配置を充実し、ネイティブ・スピーカーの英語に触れる機会を増やすことにより、実践的なコミュニケーション能力を培う

大田区における国際教育の取組

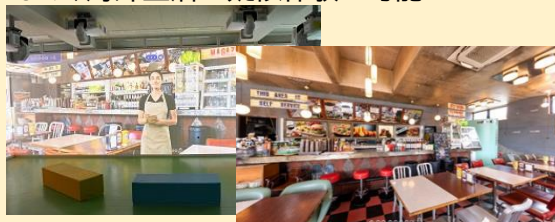
めざす姿
グローバル社会を担う力の育成

●おおたグローバルコミュニケーション(OGC) 拡充

▶ 英語を中心とした国際教育

<大森東小学校>

- ✓ 海外体験ルームの活用
仮想空間に海外のまちを構築することにより、海外生活の疑似体験が可能



- ✓ 英語専科教員(OGCティーチャー)の配置

- ✓ コミュニケーションルームの活用
外国語教育指導員(ALT)や友達と、英語の読み聞かせや英会話を楽しむ



- ✓ 外国語教育指導員(ALT)の常駐

<羽田中学校>

令和6年度から新たに実施

- ✓ 英語専科教員(OGCティーチャー)の配置
- ✓ 外国語教育指導員(ALT)の常駐

●イングリッシュキャンプ

- ▶ 「TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)」での校外学習を実施し、異文化理解の姿勢を育成
- ✓ 【対象】小学校5・6年生(希望者)/中学生(希望者) 拡充

●ALTの配置の充実

- ▶ 生きた外国語に触れる機会を増やし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う
- ✓ 全中学校ALT配置時数:21→35時間 拡充

【今後の展望】



本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。

- 羽田中学校をOGCに指定
- 中学生(希望者)を対象にイングリッシュキャンプを実施

令和6年度

令和7年度以降

確かな学力をはぐくむ取組の推進

【概要】

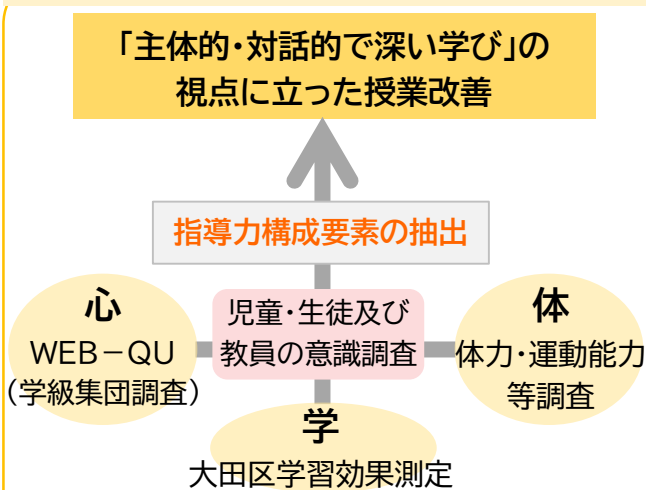
- 一人ひとりの能力を最大限に引き出すために、放課後子ども教室において、自主学習支援を実施し、きめ細やかな学びの機会を整備する
- EBPM*を導入して学力・体力調査や児童・生徒・教員の意識調査のデータを分析することにより、授業を改善する
- 教員用ウェブサイトでのICTを活用した効果的な授業の紹介やICT教育推進専門員の設置により、教員の授業力を高めることで、児童・生徒の学力や情報活用能力を高める

●放課後子ども教室における学習支援 新

- ✓ 在校生が利用できる放課後子ども教室において、自主学習支援を実施することにより、学校教育を補完し、児童の放課後の学習習慣を定着させる
- ✓ 令和6年度には小学校6校をモデル校として実施
- ✓ 今後は全校展開をめざす



●EBPM*を活用した新たな授業モデルの構築



*EBPM: Evidence-Based Policy Making の略で、定量的なデータ等(エビデンス)に基づいて政策決定を行うこと

●ICTを活用した指導の充実

- ✓ ICTを活用した効率的な授業事例を集約した教員用ウェブサイトの内容の充実を図り、情報活用能力など学習の基盤となる資質・能力を育成
- ✓ ICTの活用に関する教員向けの研修を実施
- ✓ ICT教育に詳しいICT教育推進専門員が区立小中学校を定期的に訪問し、助言を行う



【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 放課後子ども教室における自主学習支援を小学校6校でモデル実施
- EBPMに基づく授業改善の推進
- ICT教育の推進

- 世界の人々と積極的に関わりながら、よりよい未来を創り出す人財が育っています。
- 一人ひとりに寄り添う学びにより、すべてのこどもが自分らしく輝いています。

令和6年度

令和7年度以降

自分らしくいきいきと生きるための学びの支援

【概要】

- 令和3年度に不登校の中学生を対象とする「みらい学園中等部」(分教室型)を設置
- 令和6年度に不登校の小学校4年生から6年生までを対象とする「みらい学園初等部」(分教室型)を設置
- 令和12年度に不登校の小学生・中学生を対象にした「みらい学園」(学校型)を開設予定
- 令和6年度に週1回以上スクールソーシャルワーカーが学校に滞在する仕組みをモデル実施
- 障がいのある児童・生徒を対象とする特別支援学級を設置し、令和6年度から新たに「自閉症・情緒障害特別支援学級」を設置

●学びの多様化学校の設置

*「みらい学園中等部」
(分教室型)設置
対象:不登校の中学生

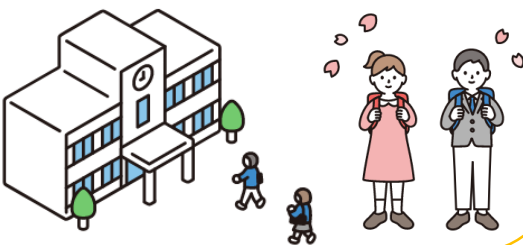
*「みらい学園初等部」**新**
(分教室型)設置
対象:不登校の小学4～6年生

*「みらい学園」
(学校型)設置
対象:不登校の小学生・中学生



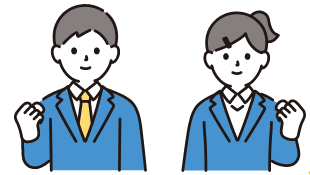
●相談・支援機能の充実

- ✓ スクールソーシャルワーカーが社会福祉の専門的な知識を駆使し、学校や関係機関と連携しながら福祉的な課題のある児童・生徒を支援
- ✓ 従来の必要時派遣型に加え、学校滞在型をモデル実施し、学校での相談機能を強化 **拡充**



●障がいのあるこどもの学びの場の充実 **拡充**

- ✓ 障がいのある児童・生徒を対象とする特別支援学級を設置
- ✓ 令和6年4月から新たに「自閉症・情緒障害特別支援学級」を開設
- ✓ 知的発達に遅れがなく、発達障がいのある児童・生徒を対象に、自立活動の指導を行う特別支援教室(サポートルーム)を全小中学校に設置



【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 一人ひとりに寄り添う学びにより、すべてのこどもが自分らしく輝いています。

- 「みらい学園初等部」を設置
- 「自閉症・情緒障害特別支援学級」を設置
- 「スクールソーシャルワーカー事業」を拡充

令和6年度

令和7年度以降

2

文化を伝え育み 誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

心と体どちらも健康でいることは、
いつまでも充実感のある毎日を過ごすことにつながります。
そのためには、文化や芸術といった、心を豊かにしてくれるものとふれあい、
それらを伝え育むことで、笑顔あふれる暮らしを送ることが大切です。
また、すべての人々に活躍の場があり、つながりあえることで、
元気に暮らせる社会をつくることも重要となります。
こどもから高齢者まで、障がいの有無や、性別、国籍などにかかわらず、
個性をお互いに認めあいながら、
生涯にわたり、誰もが笑顔でいきいき暮らすまちをめざします。

一人ひとりに、
社会の中での役割や生きがいがあり、
誰もが自分らしい暮らしを送っています。



社会全体で包み込むように
支えあう考え方が日常に溶け込み、
つながりを感じるあたたかさあふれる
まちになっています。

言語や慣習をはじめ、

属性の異なる人々がお互いを尊重しあい、

笑顔で自然に交流しています。



気軽にスポーツを楽しみ、

健康づくりに取り組むことで、

生涯にわたっていきいきとした

生活を送っています。



多彩な文化や芸術、

歴史や伝統が暮らしとともにあることで、

心が潤い、豊かな感性が育まれています。



自由に学びを深められることで、

質が高く心地よい暮らしを

送ることができています。

分野横断の包括的支援体制の強化

【概要】

- ・ 高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれない、多様化・複雑化した支援ニーズに対応する「包括的支援体制」を構築するため、重層的支援体制整備事業を着実に実施する

背景



- 福祉ニーズが多様化・複雑化
 - ➔ 単一分野の制度利用や支援だけでは、生活課題に対応できなくなっている。
- 地域や家族間のつながりが弱まる中で、制度の狭間で孤立
 - ➔ 生きづらさを感じる人が増えている。

今までは？

- ・ 困りごとがいくつあると、どこに相談すればよいか分からない…
- ・ 複数の機関に相談する場合に、何度も同じ説明をしないとイケない…



これからは！

- ✓ 複合的な課題や制度の狭間の課題を抱えている区民が、身近な相談から適切な支援につながる



- ✓ 自覚している生活課題以外の根本的な課題への支援が得られる



- ✓ 短期的ではなく、継続性を持った寄り添い型の支援によって、生きづらさを抱える人の生活を支援する



重層的支援体制整備事業の3本柱

① 包括的相談支援

世代や分野を問わず、関係機関が連携して支援

② 参加支援

地域社会とのつながりを段階的に回復する支援

③ 地域づくり支援

多様な地域活動が生まれやすい環境を整備・活性化する支援

① 多機関協働による支援の強化



重層的支援会議（各地域福祉課）

令和6年度からは… **拡充**

- ✓ 弁護士等の専門家による専門的知見の活用
- ✓ 様々な支援機関の間で日常的な情報共有

●アプローチ方法の検討

対象者との関係づくりのためのアウトリーチ等のアプローチ方法について関係機関と検討

●多機関連携による支援

対象者からの同意のもと、関係機関が役割分担をして、チームで支援するプランを作成

●地域資源のニーズ抽出

個別課題の検討から地域課題を分析し、必要な地域資源のニーズを抽出し、地域づくりに活かす

地域づくり支援
につなげる



②③ 地域福祉コーディネーターを中心とした地域づくり

✓ 地域福祉コーディネーターが、専門的な見地から「参加支援」や「地域づくり支援」を行う

- 個別の課題を地域課題化して、地域の方々・団体と協力し、新たな地域資源の創出や立上げを支援
- 多様な主体と話しあうための場としてたすけあいプラットフォームを設置
- 課題に応じて、必要な地域資源や居場所等へのつなぎや社会資源の創出などを実施



区の実施事例

地域福祉コーディネーターが地域団体等にヒアリング

こどもに関する課題を把握

特別出張所等と連携し、たすけあいプラットフォームを設置



③ 「おおたフード支援ネットワーク」を通じた支えあい

1

食料を集める

- ✓ 地域のフードドライブ、企業の地域貢献
- ✓ 食料回収・運搬



2

食料を仕分ける

- ✓ 仕分けボランティア



3

食料を通じてつながる

- ✓ フードパントリー団体等への提供



『食』と『つながり』を必要とする区民 

令和6年度からは… **拡充**

- ✓ 常設型フードドライブの回収先を増加
- ✓ 寄付食料の宅配に関する支援拡大
- ✓ フードバンク団体への支援強化



【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 社会全体で包み込むように支えあう考え方が日常に溶け込み、つながりを感じるあたたかさあふれるまちになっています。

- 重層的支援体制整備事業の実施（多機関協働事業、地域福祉コーディネーター事業、おおたフード支援ネットワーク事業）

令和6年度

令和7年度以降

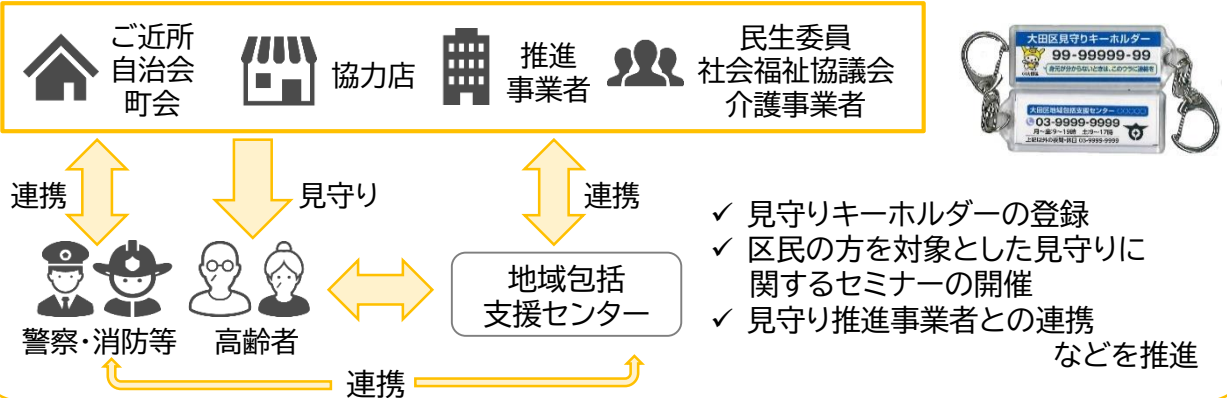
自分らしく輝けるまちづくり

【概要】

- ・ 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、見守り活動を推進する
- ・ 元気なうちから将来に備えることで本人の思いが尊重され、人生を前向きに安心して暮らせるよう、老いじたく推進事業を拡充する

高齢者見守り・支え合いネットワークづくり

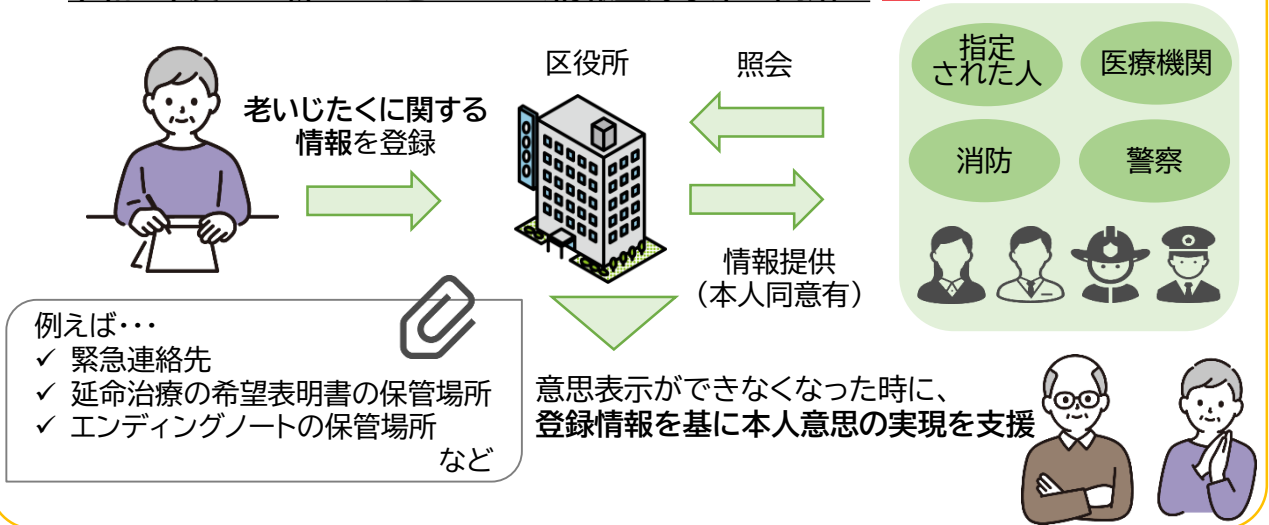
住み慣れた地域での暮らしに関すること



老いじたくの更なる推進

個人の尊厳に関すること

- ✓ 令和6年度から新たに、老いじたく情報登録事業を開始！ 新



【今後の展望】



* 本取組が結びつく基本構想のまちの姿 *

- 一人ひとりに、社会の中での役割や生きがいがあり、誰もが自分らしい暮らしを送っています。

- ・ 高齢者見守り・支え合いネットワーク事業の推進
- ・ 老いじたく推進事業の拡充

令和6年度

令和7年度以降

学びの充実と学びを支える環境整備

【概要】

- ・ ライフステージや様々なニーズに応じた個人の学びの機会を充実させる
- ・ 誰もがいつでもどこでも学ぶことができる環境を整備するため、区内の生涯学習に関する情報を一元的に分かりやすく発信するウェブサイトを運営する



！ 生涯学習 ！

生涯にわたり、様々な機会・場所で取り組む学びのこと。
 学校での勉強、スポーツ、読書、ボランティアや地域の活動に参加すること、
 家庭で生活習慣やマナーを身に着けること など…

＼様々な手法で、生涯学習の支援を行う／

●生涯学習講座

- ✓ 地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供
- ✓ 区内大学、専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより、多様な学習意欲に応えられる講座を実施



●生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」の運用



令和5年1月の開設から、掲載講座・イベント数は延べ400件を超えています！



- ✓ 区民の学習や活動のきっかけづくり、学びの継続を支援
- ✓ 各所属で実施している生涯学習関連事業の情報を一元的に発信

掲載情報

- ✓ 募集中の講座・イベント情報
- ✓ 社会教育関係団体（サークル）の情報
- ✓ 生涯学習ボランティアの情報
- ✓ 生涯学習に関する活動事例 など

【今後の展望】



本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 自由に学びを深められることで、質が高く心地よい暮らしを送ることができています。

- ・ 生涯学習講座の実施
- ・ 生涯学習ウェブサイトの運用

令和6年度

令和7年度以降

健康づくり活動の推進

【概要】

- 東邦大学との共同研究により、地域ごとに分析した健康特性などを踏まえて、健康課題を啓発することで、区全域で区民の意識変容・行動変容を促す
- 学齢期のこどもたちに対し、学校給食からも健康増進へのアプローチを行うため、東邦大学と連携し、食育を推進する
- 誰もが気軽に取り組めるスポーツとしてランニングを普及し、区民のランニングへの関心を高め、スポーツ実施率の向上及び健康増進を図る

人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト

プロジェクトの進め方

①行政情報分析

区が保有する情報を18地区別に集計し、分析を行う



②質問票調査

①では把握できない生活習慣等を中心に調査を行う

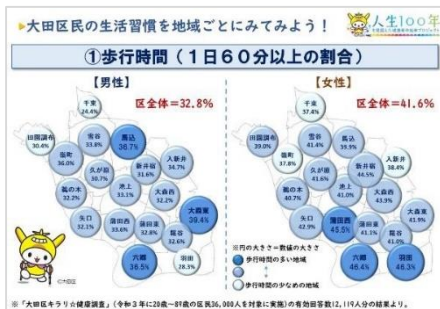


①②の分析に基づき、

東邦大学から政策に関する提言を受け、**区**の健康施策への実装をめざす



①②分析の実施例



▲各地区の歩行時間



健康づくりの取組



令和6年度は、モデル事業として進めてきたものを「成人保健事業」に位置付け、更に取組を推進！ **拡充**

- ✓ 小学校への健康教育
- ✓ 地域健康イベント
- ✓ 企業・事業所への健康活動支援



東邦大学と連携した食育の研究と実践 **新**



- ✓ 令和6年度は、小学校4校を対象に試行実施
- ✓ おいしくて健康になる給食献立の共同研究・開発、給食での実施
- ✓ 家庭への健康に関する働きかけ（給食だよりでのコラムの掲載など）

＼Point!!／ 新設教科「おたの未来づくり」の試行実施とも連動！

令和6年
2月に
初開催！

ランニング環境の整備

●ランニング教室

- ✓ 区内の公園や緑地等を活用して、シューズの履き方や足の運び方など、走り方の工夫をレクチャーし、実際にコースを走行
- ✓ 走行したコースを区ホームページで紹介

- ✓ 区民が身近な場所でランニングに取り組みきっかけを創出
- ✓ 日常的なランニングの取組を促し、ランニングを普及



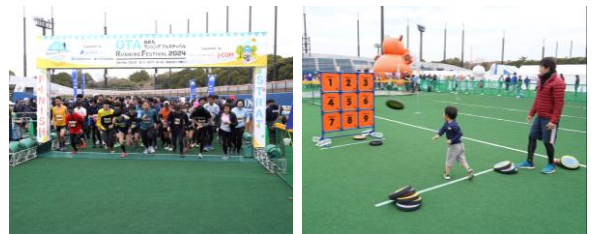
●ランニング大会

- ✓ 一人でも家族等と一緒に参加でき、ファンランや競技性のある種目など、幅広いニーズに対応したランニング大会を開催
- ✓ 各種スポーツ体験会等をサブイベントとして実施

- ✓ 初心者や幅広い年代の方がランニング・ジョギングを継続するきっかけを創出
- ✓ 応援に来た友人や家族等、誰もがスポーツを楽しむ機会を提供

＼令和6年2月開催時のメニュー／

- ファミリーラン、ジュニアラン、5kmラン、リレーマラソン
- ホッケー体験、バスケットボールのシュートチャレンジ、ストラックアウト、ボッチャ、フライングディスク など



区民のランニングをはじめとした様々なスポーツへの関心が高まる



スポーツ実施率の向上・健康増進

【今後の展望】



2040

- 人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクトの推進(成人保健事業)
- 食育の研究と実践の試行実施
- ランニング環境の整備

令和6年度

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりに取り組むことで、生涯にわたっていきいきとした生活を送っています。

令和7年度以降

文化とふれあう機会の創出

【概要】

- 文化や芸術といった、心を豊かにしてくれるものとふれあい、それらを伝え育むことにつながるきっかけとなるよう、各種展示や広報・発信を行う

●郷土博物館 特別展「関東の弓矢」(仮題)

- ✓ 郷土博物館では、大田区に関連する人文科学系の資料を中心に収集・整理・保存し、調査・研究・常設展示の充実に努めている。
- ✓ 令和6年度は、弓矢を考古学の分野から通史的に捉えた展示として、大田区の矢じりを位置付ける特別展「関東の弓矢」(仮題)を開催する。



- ✓ テーマに沿った講演会等を開催
- ✓ 学校や図書館等と協力し、出前型事業や講座・ワークショップ等を実施

大田区の歴史伝承
に寄与！



●龍子記念館 コラボレーション企画展

- ✓ 龍子記念館では年数回、テーマ別に展示を行うなど、区民が身近な場所で芸術作品に触れられる機会を提供している。
- ✓ 令和6年度は、以前好評を博した現代アートコラボレーション企画展の2回目を開催する。



Point!!



龍子記念館と旧川端龍子邸は、文化審議会において新たな国登録有形文化財(建造物)に登録するよう答申されています！

めざす効果

新規層開拓へ向けた
情報発信の強化

区が誇る質の高い文化・芸術に
多くの方が触れる機会を増やす

鑑賞や体験を通じた
文化芸術の担い手の育成

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 多彩な文化や芸術、歴史や伝統が暮らしとともにあることで、心が潤い、豊かな感性が育まれています。

- 区民が文化とふれあう機会を創出する企画展等の開催

令和6年度

令和7年度以降

Minto Otaを軸とした多文化共生の推進

【概要】

- 区における国際交流・多文化共生を一体的に推進するおおた国際交流センター(Minto Ota)を軸とし、「国際都市おおた」を更に進めるための取組を実施する

国際都市おおたの推進

●Mintoフレンズ

- ✓ Minto Otaのサポーターとして創設
- ✓ 国際交流・多文化共生に関心のある小学生以上の区民すべてが対象
- ✓ 外国人区民が生活に早くなじめるように、各種の媒体を通し情報提供等を行う

令和6年度
から開始!



●多言語相談窓口

- ✓ 区在住の外国人からの様々な相談に多言語で対応
- ✓ 相談の内容に応じて的確に関係機関につなげる支援を行う
- ✓ 多言語通訳タブレットを使用した窓口対応により、各言語の相談員が不在でも、簡易な相談に対応!



その他、外国につながるのあるこどもの日本語学習も支援!

●おおたこども日本語教室

- ✓ 海外から転入した不就学・未就学のこどもが対象
- ✓ 小中学校へのスムーズな就学をサポート
- ✓ 令和6年度は受入体制を強化 **拡充**



●こども学習支援教室

- ✓ 外国につながるのあるこどもが対象
- ✓ ボランティア養成講座の修了者等が、日々の宿題や日本語学習をサポート
- ✓ 令和6年度は安定的な運営のため体制を強化 **拡充**



【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 言語や慣習をはじめ、属性の異なる人々がお互いを尊重しあい、笑顔で自然に交流しています。

- Minto Otaを軸とした取組の推進
- 外国につながるのあるこどもの日本語学習の支援

令和6年度

令和7年度以降

3

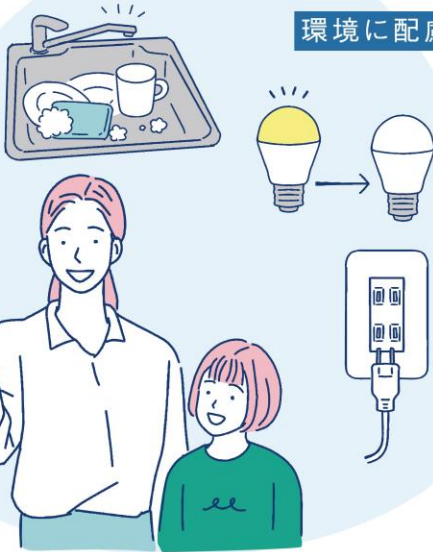
豊かな環境と産業の活力で 持続的に発展するまち

環境は、経済・社会などわたしたちの暮らしの基盤です。

地域社会のすべての主体が環境に配慮した行動をとるに起こし、
将来の世代によりよい形で引き継いでいくことが大切です。

そして、環境が守られた上で、国内有数の産業集積の維持・発展と新産業の創造を通じ、
産業が持続的に成長することが、区の活力を将来にわたって高めていくことにつながります。
一人ひとりに環境への意識が浸透して具体的な行動につながるとともに、
多様な産業がたえまなく成長することで、持続的に発展するまちをめざします。

自分の行動が未来の環境を
大きく左右するという意識を持ち、
環境に配慮した行動を実践しています。

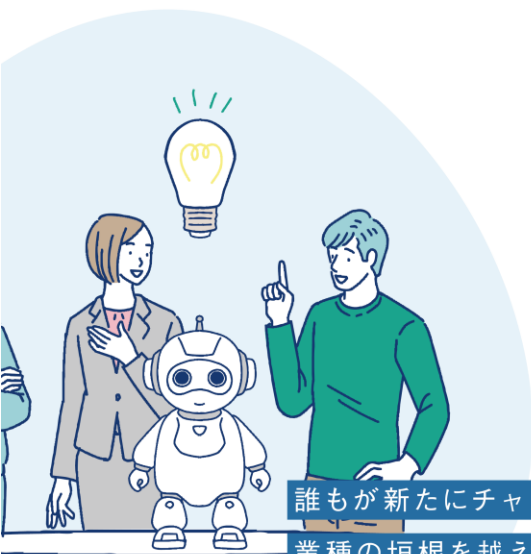


次世代クリーンエネルギーや
新技術の活用を含む脱炭素への
積極的な行動により、
カーボンニュートラルの実現に向けた
歩みを着実に進めています。





資源を無駄なく利用する意識が浸透し、
循環型社会が形成されています。



区内企業が社会環境の変化に
柔軟に対応することにより、
生産性の向上や産業集積の
維持・発展につながっています。



誰もが新たにチャレンジできる環境で、
業種の垣根を越えたより一体的な協力関係の形成により、
新たな産業やサービスが生み出され、
区内企業の「稼ぐ力」が向上しています。

磨き上げられた「大田区ブランド」が
世界の人々を魅了し、
多くの人々が訪れることで、
にぎわいや経済の活性化につながっています。



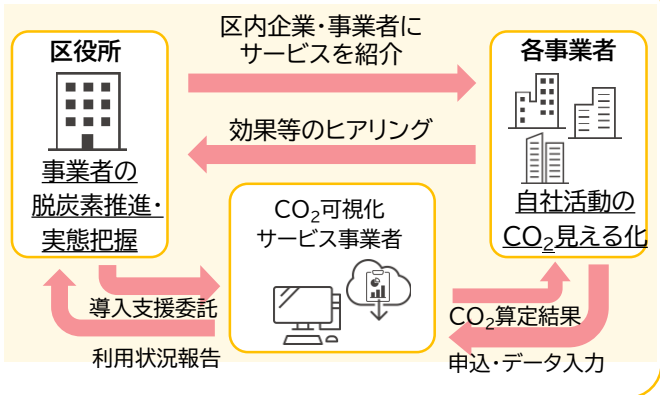
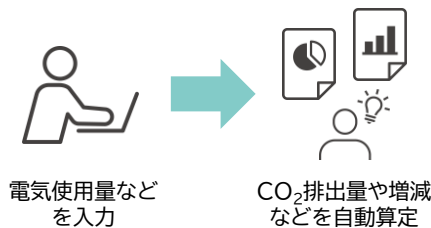
環境にやさしい事業活動の推進

【概要】

- ・「区民運動おたクールアクション」において、令和6年度より区内企業・事業者へのCO₂可視化サービス導入支援を行い、現状把握を実施
- ・省エネ設備の導入をはじめとした、SDGs・脱炭素への積極的な取組に対して助成を行い、環境に配慮した行動実践を促進
- ・「現状把握」と「実践」のサイクルにより、事業者の行動変容を促進していく

●事業活動の現状把握

区内企業に対しCO₂可視化サービス導入を支援 **拡充**



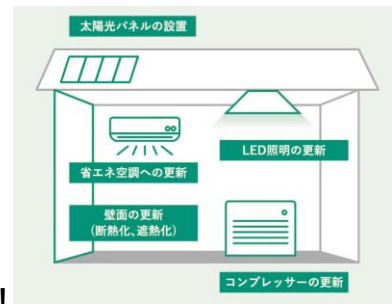
●行動の実践

省エネ設備の導入など、区内企業のSDGs・脱炭素化への積極的な取組に対して助成 **新**

(取組例)

- ✓ 太陽光発電システム・ガス発電給湯器の導入
- ✓ 工場内照明のLED化

令和6年度からは既存制度を統合し、新たな助成金を創設！



事業者の環境配慮行動を促し、
更なる産業の発展につなげていく

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 自分の行動が未来の環境を大きく左右するという意識を持ち、環境に配慮した行動を実践しています。
- 区内企業が社会環境の変化に柔軟に対応することにより、生産性の向上や産業集積の維持・発展につながっています。

- ・ 区内企業へのCO₂可視化サービス導入を支援
- ・ SDGs・脱炭素化への取組に対する各種助成

令和6年度

令和7年度以降

カーボンオフセットを活用した行動変容促進

【概要】

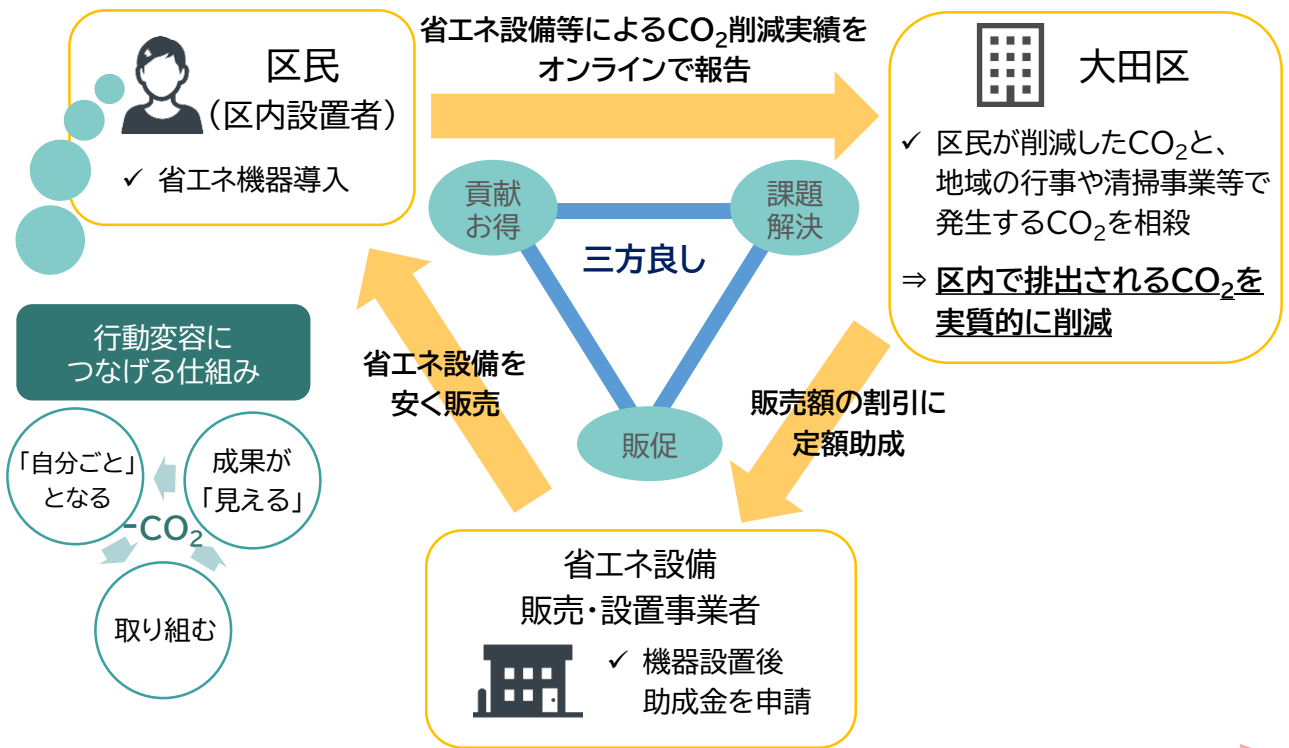
- 省エネ機器の導入に助成を行い、機器導入により削減したCO₂と、地域の行事や清掃事業等で発生するCO₂を相殺
- 区民一人ひとりの取組成果を「見える化」し、脱炭素ライフスタイルへの行動変容の輪を更に拡大する

01 カーボンオフセットとは

日常生活や経済活動において避けることができない温室効果ガスの排出について、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方



カーボンオフセットを活用した行動変容促進 新



【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 区内設置の家庭用燃料電池への助成
- 地域の日常活動(イベント等)のカーボンオフセットを実施
- 助成手続とCO₂削減報告等をオンラインベースで実施

- 自分の行動が未来の環境を大きく左右するという意識を持ち、環境に配慮した行動を実践しています。
- 次世代クリーンエネルギーや新技術の活用を含む脱炭素への積極的な行動により、カーボンニュートラルの実現に向けた歩みを着実に進めています。

令和6年度

令和7年度以降

次世代エネルギーの社会実装を見据えた 実証的取組の推進

【概要】

- 2050年脱炭素社会の実現に向けた「区役所の率先行動」として、水素を活用した定置型燃料電池の最新モデルを区施設に設置し、次世代エネルギーとして期待される水素の利活用の可能性を実証する

●現状と課題

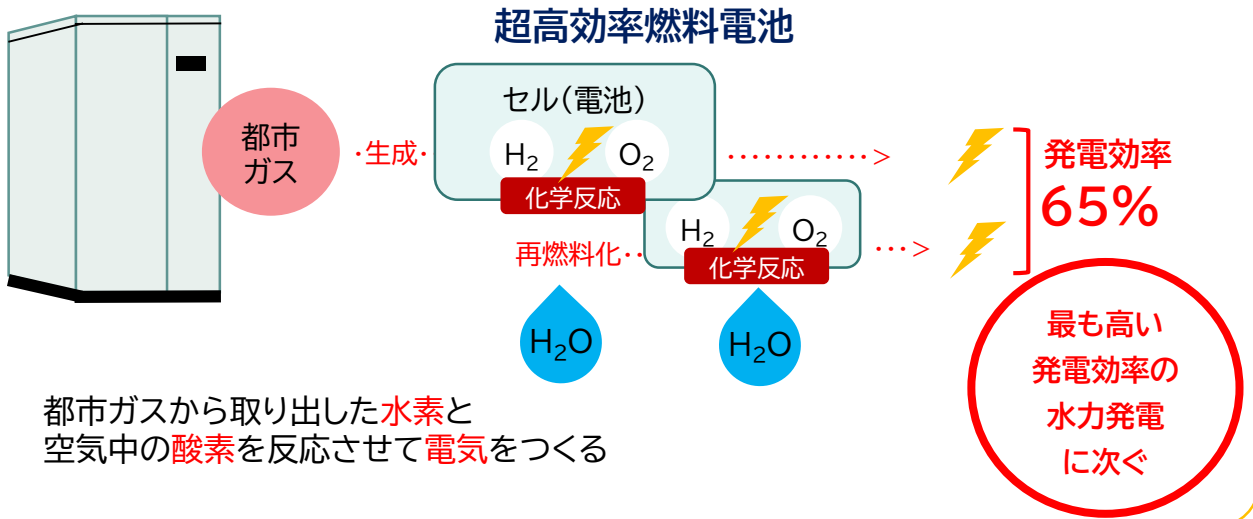
限られる再エネ導入ポテンシャル

- 都市部において太陽光発電などの再生可能エネルギー導入は簡単ではない

地域の災害対応能力の向上

- 非常時に自立エネルギーを確保している区民や事業者は多いとは言えない

●水素を活用した超高効率燃料電池の区有施設への先駆的導入 新



- 太陽光パネルの約1/150の設置面積
- 24時間発電可能
- 災害時、施設や区民へ非常電源供給(検討)

脱炭素・地域の災害対応能力向上の一手として、区有施設への展開の可能性を検証

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 次世代クリーンエネルギーや新技術の活用を含む脱炭素への積極的な行動により、カーボンニュートラルの実現に向けた歩みを着実に進めています。

- ライフコミュニティ西馬込への導入(機器製作・設置工事)

令和6年度

令和7年度以降

循環型社会の実現に向けた取組

【概要】

- ・ 可燃ごみとして収集しているすべてのプラスチック類を資源として回収し、リサイクルを推進
- ・ 古着の回収事業を区内商店街や事業者主体で実施し、教育機関や地元企業と連携しながら、古着の再商品化と再利用化の区内循環ネットワークの構築を図る

資源プラスチックの回収

家庭から出るプラスチックを分別回収

- ✓ 地球環境への負担軽減
- ✓ 最終処分場の延命化



令和4年度
約22,000世帯

令和5年度
約126,000世帯

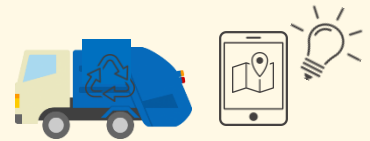
令和6年度
区内3分の2程度 **拡充**

令和7年度
大田区全域へ
(約410,000世帯)

GPSを活用した **23区初!**

プラスチック回収の効率化

令和5年12月から、プラ回収車へのタブレット端末とGPSの設置により、相互応援や効率的なルート検討を進めている。



循環型社会

実現

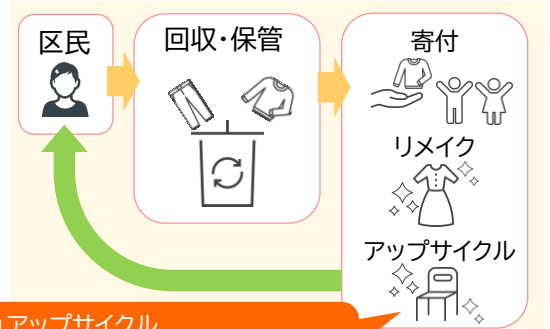
に向けたまちづくり

民間と連携した古着の回収 **新**

- ✓ 民間事業者等と連携し、多様な手法で古着回収の受け皿を確保
- ✓ 回収した古着は児童・障がい者施設等へ寄付
- ✓ 区内事業者や教育機関等と連携し、アップサイクルを行う

⇒ 産学官連携による古着の地域循環の実現をめざす

古着の区内循環フロー



アップサイクル
廃棄予定のものに手を加え、新しい製品へと生まれ変わらせる手法

【今後の展望】

- ・ 資源プラスチックの回収 (区内3分の2程度)
- ・ 民間等と連携した古着の回収循環型モデル事業実施

令和6年度

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 資源を無駄なく利用する意識が浸透し、循環型社会が形成されています。
- 自分の行動が未来の環境を大きく左右するという意識を持ち、環境に配慮した行動を実践しています。

令和7年度以降

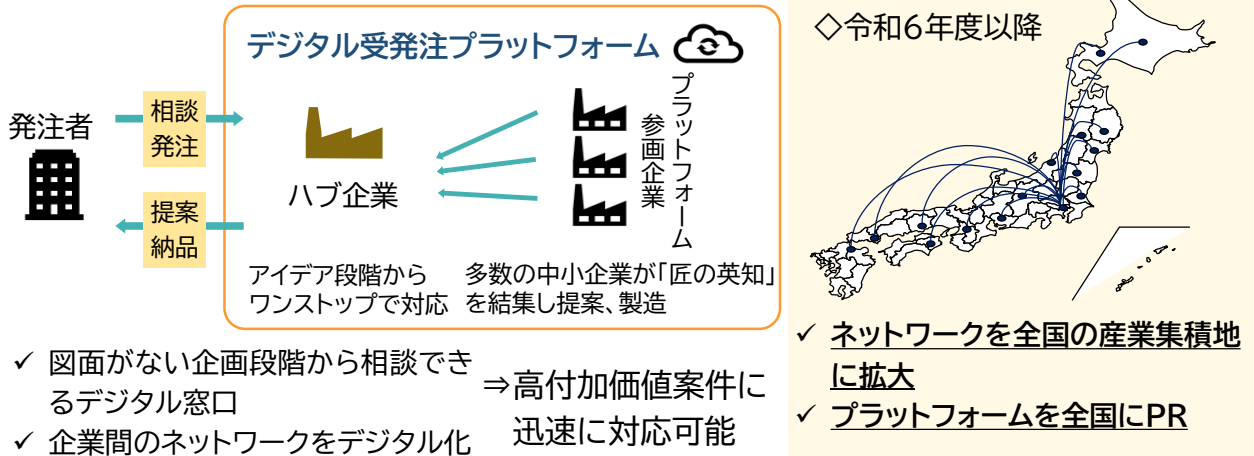
2040

区内企業の自己変革への支援

【概要】

- 区内企業の強みである「仲間まわし」及び試作・研究開発力を活かすことのできるデジタル受発注プラットフォームを構築し、その拡大を推進
- スマートフォンで使用可能なアプリ型のプレミアム付デジタル商品券を発行し、中小個店のキャッシュレス決済定着を図る

●ものづくり企業のデジタル化



●商店街(小売・サービス業)のデジタル化



- ✓ スマートフォンで使用可能なアプリ型のプレミアム付デジタル商品券を発行
- ✓ 令和6年度からは、全店舗共通券と中小店舗専用券のセット販売を実施し、中小店舗における消費を促進 **拡充**
- ⇒ 商店街のデジタル化・キャッシュレス化を促進

デジタル化による業務効率化・高付加価値化の促進

【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 区内企業の利用拡大、受注案件獲得
- 全国の産業集積地との広域連携、大学との連携、海外展開に向けた取組強化
- プレミアム付デジタル商品券を発行

- 区内企業が社会環境の変化に柔軟に対応することにより、生産性の向上や産業集積の維持・発展につながっています。

令和6年度

令和7年度以降

ものづくりの次世代への承継と立地支援

【概要】

- 立地・人材育成・事業承継の三側面から支援を行い、産業集積の維持・発展を図る

立地

取組に対する助成

持続可能な操業のための
様々な助成 **新**

<助成の例・効果>

- ✓ 区外からの企業誘致による雇用増
- ✓ 設備更新による脱炭素化
- ✓ 第二工場の新設による生産性向上
- ✓ 研究開発企業の誘致による区内取引増

アドバイス



ハード整備

民設民営工場アパート等の建設促進による企業誘致・留置

イノーバ大田



旧羽田旭小学校
敷地活用事業

区内での操業、企業の生産性向上・脱炭素化に向けた取組の伴走支援 **拡充**

人材育成

次世代人材育成のための支援

こども向け

- ✓ 産業のまち発見隊
- ✓ ものづくり実践教室



事業者向け

- ✓ 技術者・新入社員・次世代経営者育成セミナー
- ✓ 産業団体経営革新支援事業講習会

令和6年度:人材確保プロジェクトの創設 **拡充**

- ✓ 育成した人材の区内企業への就職を促進

事業承継

事業承継の切れ目のない支援

掘り起こす



PUSH型セミナー
の開催、啓発

具体的支援



各団体の
助成金・伴走支援

支援機関との連携



PiO内機関・金融
機関等との情報共
有・連携強化

相談窓口をPiOフロントに集約し
ワンストップ化

【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- ハード・ソフト両面からの区内での操業及び企業の生産性向上・脱炭素化に向けた取組の伴走支援
- 次世代ものづくり人材育成支援
- 事業承継ワンストップサービス

- 区内企業が社会環境の変化に柔軟に対応することにより、生産性の向上や産業集積の維持・発展につながっています。

令和6年度

令和7年度以降

新たな挑戦への支援と 企業同士の交流・連携機会の創出

【概要】

- 創業支援から区内への社会実装に向けた実証実験サポート、交流・連携によるイノベーション創出までの切れ目のない支援を実施

●創業支援

創業支援施設における
起業・経営支援



南六郷創業支援施設(六郷BASE)

- ✓ 専門家による創業相談・経営支援やセミナー開催
- ✓ 区内企業や団体等とのマッチング

●実証実験サポート 新

HICityで実証実験を行った企業等が区内での実装に向けた取組を行う際の伴走支援を実施

⇒ 地域課題解決やQOL向上等に資する実証実験を質・量ともに充実

創業から交流・連携までの
切れ目のない支援

●交流・連携による イノベーション創出

「HANEDA×PiO」を
拠点とした
新産業の創造・発信

取組事例

- ✓ IoT自動換気制御による電気使用量の削減

HICityで実証実験したIoT自動換気制御を区施設へも展開。電気使用量の削減効果を実証実験で検証



焚き火台

取組事例

- ✓ 区内ものづくり企業とセレクトショップ運営企業の共同製品開発
製品開発ニーズを持つセレクトショップを運営する企業と区内ものづくり企業の連携により、機能性とデザイン性を兼ね備えた製品(焚き火台、ランプシェード)を製作し、販売



ランプシェード

- ✓ HICity内の研究開発拠点との連携

空港の課題解決に異業種連携で取り組む研究開発拠点等との連携をはじめ、HICityをハブとしたオープンイノベーションを促進

⇒ 日本の産業界のイノベーションを加速させる拠点に



交流スペース「PiO PARK」

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 誰もが新たにチャレンジできる環境で、業種の垣根を越えたより一体的な協力関係の形成により、新たな産業やサービスが生まれ、区内企業の「稼ぐ力」が向上しています。

- 創業支援施設における起業・経営支援
- 区内での実証実験サポート
- 「HANEDA×PiO」を拠点とした多様な主体の交流・連携の促進

令和6年度

令和7年度以降

魅力ある観光資源の創出・発信

【概要】

- 区内の観光資源を「磨き上げる」、地域の魅力を「発信する」、多様な魅力を「活かす」の三側面の取組により、区内への経済波及効果の拡大を図る

観光資源を

磨き上げる

地域ごとの特性を活かし、「回遊」をコンセプトとしたイベントを実施



東急池上線エリア
(令和5年度)

令和6年度
更にエリアを
変えて実施



京急空港線エリア
(令和4年度)

地域の新たな魅力創出・活性化

地域の魅力を

発信する

リアルとデジタルの双方から
区の魅力を世界へ発信



羽田空港第2・第3ターミナル
における観光情報発信

大田観光協会公式サイト
「大田ナビ」



多様な
魅力を

活かす

企業等や国際機関・団体、学会等
が行うビジネスイベントの総称

羽田空港の立地を活かし、ものづくりや先端産業、商店街や銭湯等の豊富な地域資源を有効活用したMICEの誘致や来訪者の回遊を推進



④ MICEとは

M … Meeting(会議)

I … Incentive Travel(報奨・研修旅行)

C … Convention(国際会議)

E … Exhibition/Event

(展示会・見本市/イベント)

区内への経済波及効果の拡大

【今後の展望】

2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 地域ごとの特性を活かした回遊イベントを実施
- 羽田空港第2・第3ターミナル及び大田観光協会公式サイトによる情報発信
- MICE誘致の推進

- 磨き上げられた「大田区ブランド」が世界の人々を魅了し、多くの人を訪れることで、にぎわいや経済の活性化につながっています。

令和6年度

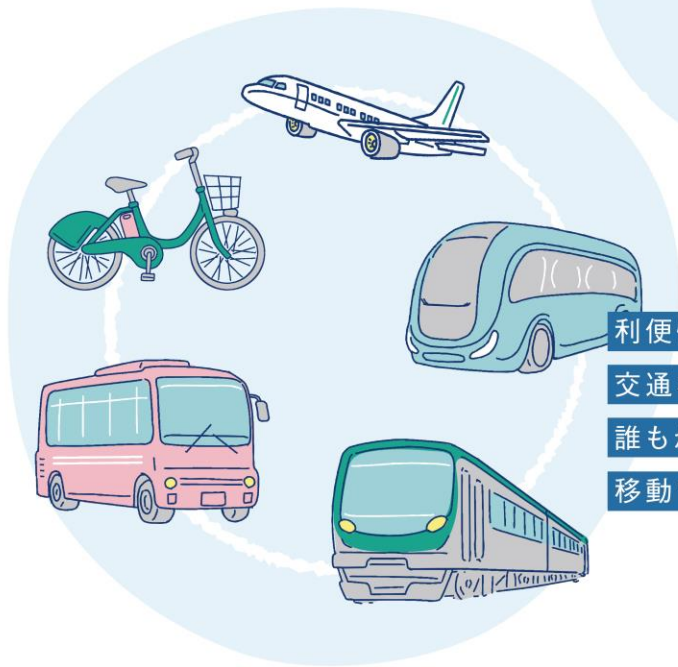
令和7年度以降

4

安全・安心で活気と やすらぎのある快適なまち

安全だけでなく安心であり、
日々の生活を心穏やかに快適に過ごせることは、
誰もが住み続けたいと思えるまちの実現につながります。
また、23区で唯一空港を有している強みをはじめ、
様々な地域の特色をまちの活力につなげていくことも重要です。
都市の強靱化を進めるとともに、多様な地域特性を踏まえて、
活気とやすらぎのある快適なまちをめざします。

強靱な都市基盤の整備と
地域の連携の強化により、
心から安心できるまちになっています。



利便性の高い
交通ネットワークの整備により、
誰もがどこへでも気軽に
移動できるようになっています。

鉄道沿線から広がる活気あるまちづくりや、
空港を持つ強みを活かしたまちづくりを通じて
にぎわいと交流が生み出されています。



安心で快適な住環境の整備により、
ずっと住みたいまちになっています。



地域の特性を活かした、
多様な特色を持つ公園が
充実しています。



身近な場所でふれあえる水やみどりがあり、
やすらぎを感じられるまちになっています。



心から安心できるまちづくり

【概要】

- 都市計画道路や橋梁の耐震化などの整備を着実に進めるとともに、「高台まちづくり」の方針策定にも着手し、都市の防災機能を強化
- マイ・タイムラインの普及を促進し、災害時に慌てず適切な避難行動を取ることができる区民を増やす
- 治安の向上をめざし、防犯カメラの設置や青色回転灯パトロールカーによるパトロールの実施など、安全・安心を確保するための取組を着実に進める

ハード面の取組

●災害に強いまちづくり

- ✓ 耐震化・不燃化の促進
- ✓ 都市計画道路の着実な整備
- ✓ 無電柱化の推進
- ✓ 橋梁の耐震性向上

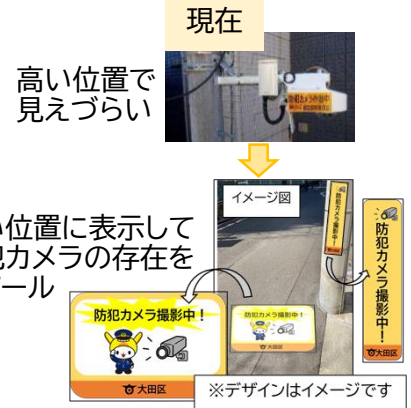


無電柱化されたまち

●犯罪の少ないまちづくり

- ✓ 令和7年度までに自治会・町会が管理する防犯灯をすべてLEDにすることで、夜でも明るいまちへ **拡充**
- ✓ 防犯カメラ設置などの経費を補助するとともに、設置表示を工夫 **新**

安心できる都市へ



高台まちづくり基本方針の策定に着手 **新**

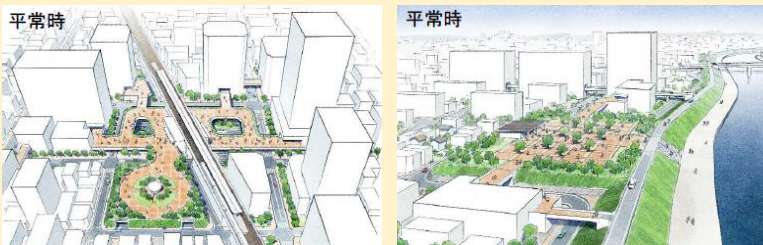
① 高台まちづくりとは

建築物の上層階の利用・公園の高台化・高規格堤防などの整備で高台拠点を確保することにより、**住民の生命の安全や最低限の避難生活を担保**するとともに、住民の浸水区域外への避難を可能とし、**まちの課題解決にもつなげていく取組**



高台まちづくりのイメージ

短中期対応



【公共空間等の整備イメージ】

中長期対応



【高規格堤防の整備イメージ】

(イメージ図の出典)国土交通省HP 災害に強い首都「東京」形成ビジョン資料「高台まちづくりのイメージ」

基本目標④リーディング・プロジェクト

ソフト面の取組

●災害への日頃の備え

- ✓ 風水害への事前の準備や行動を時系列に整理した自分自身の避難計画(マイ・タイムライン)の普及
- ✓ 災害時の避難の際に特に支援が必要な方を対象とした個別避難計画の作成推進
- ✓ 大田区防災アプリ・防災ポータルの普及啓発強化



●災害に対する知識

- ✓ 防災塾の開講を通じた災害ボランティアの育成・支援
- ✓ 防災パンフレット・ハンドブックの配布を通じた情報発信



●災害時の対応

- ✓ 災害時要配慮者(高齢者・障がい者等)のためのスペースを避難所に確保
- ✓ 機能性のある毛布や簡易トイレの追加配備など、避難所の備蓄体制を強化

●治安の向上

- ✓ 警察と連携した特殊詐欺や自転車盗難、子どもに対する犯罪への対策
- ✓ 地域団体による自主防犯活動への補助



新型毛布



倉庫での備蓄例



地域の安全に寄与する
「青色回転灯パトロールカー」

【今後の展望】

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 強靱な都市基盤の整備と地域の連携の強化により、心から安心できるまちになっています。

- 都市基盤の強化に向けた取組
- 災害時の対応力強化に向けた取組

令和6年度

令和7年度以降

新空港線整備と区内交通の改善

【概要】

- JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間の約800mをつなげる新たな鉄道路線「新空港線(蒲蒲線)」の事業着手に向けた検討
- 区内交通の更なる改善に向けて、多様な移動サービス導入の検討を実施

* 多様な交通手段を組み合わせ 区内交通を便利に *

- ✓ 既存の交通と新たな交通手段等とのネットワーク強化である「MaaS」を含めた、多様な移動サービスを検討

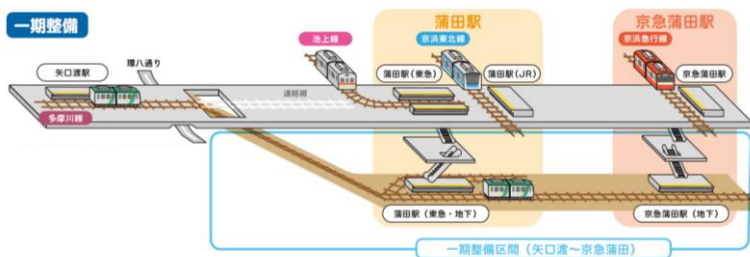
📱 MaaSとは

「Mobility as a Service」の略。鉄道、バスなどの既存の交通サービスや自動運転技術を活用した新たな乗り物などを、AIなどのテクノロジーで掛け合わせた、次世代の交通サービス



* 新空港線(蒲蒲線)の整備促進 *

- ✓ JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅が鉄道で結ばれ、区内の東西交通が便利に
- ✓ 区内から羽田空港・渋谷・新宿・池袋、埼玉県方面へのアクセスが便利に



【今後の展望】

2040

* 本取組が結びつく基本構想のまちの姿 *

- 利便性の高い交通ネットワークの整備により、誰もがどこへでも気軽に移動できるようになっています。

- 新空港線の事業着手に向けた諸手続の支援
- 多様な移動サービスの提供について検討

令和6年度

令和7年度以降

鉄道沿線のまちづくり

【概要】

- まちが将来にわたり持続的に発展するよう、鉄道駅周辺を中心に公民連携も図りながら魅力的なまちづくりに取り組む
- 新空港線整備の前進などにより各地区のまちづくりの機運が高まっていることから、沿線のまちの将来像を示す、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」を踏まえ、地域特性を活かしたにぎわいと活力を生み出す個性的な都市空間を構築

「大田区鉄道沿線まちづくり構想」を踏まえ、 将来にわたり「住み続けたい」「訪れてみたい」まちの実現へ

大森駅周辺地区

- ✓ 都市計画事業
池上通りの拡幅整備や
西口広場整備



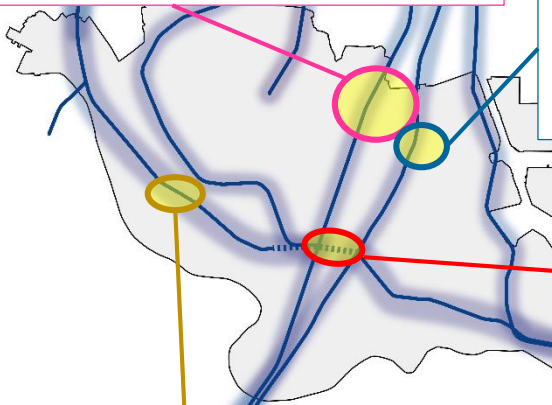
【大森駅西口広場整備イメージ】

平和島駅周辺地区

- ✓ 地域や関係事業者と連携したまちづくりに向けたグランドデザインを令和6年度中に策定

① グランドデザインとは

総合的な視点でまちの将来像を掲げ、これを実現させる取組施策を示したもの



蒲田駅周辺地区

- ✓ JR・東急蒲田駅における駅ビルの建替えや、東西駅前広場及び東西自由通路整備など、中長期に向けた整備計画の具体化
- ✓ 区有地の有効活用や周辺開発の誘発による魅力向上 **拡充**



【JR・東急蒲田駅前拠点(将来イメージ)】

下丸子駅周辺地区

- ✓ 踏切の解消と合わせた一体的なまちづくりの推進
- ✓ 豊かな活動の場としての公共空間創出に向けた具体的な取組など、グランドデザインの策定検討



【駅前広場のイメージ】

【今後の展望】



蒲田

都市基盤施設整備に向けた検討、設計

大森

都市基盤施設整備に向けた設計、用地折衝

平和島

グランドデザイン策定

下丸子

グランドデザイン策定検討

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 鉄道沿線から広がる活気あるまちづくりや、空港を持つ強みを活かしたまちづくりを通じてにぎわいと交流が生み出されています。

令和6年度

令和7年度以降

だれもが訪れたいくなる公園・緑地づくり

【概要】

- 新たな大田区基本構想の策定に向けたアンケートにおいて、多くの子ども(中学生以下)たちから「公園でもっと自由に遊びたい」との声が寄せられた
- 1人当たりの公園面積の不足、利用者が少ないなどの従来からの課題解決に加え、アンケート結果も踏まえながら、公園の将来像等を示す計画の策定を推進
- 地域特性を活かした魅力ある公園や、気持ちよく使えるトイレの整備を推進

子どもたちから寄せられた公園に関する声

子どもたちに「2040年ごろのまちの将来像」に関するアンケートを実施

公園に関する様々な声をいただいた

ボール遊びができる公園を増やしてほしい！

誰もが利用しやすい緑豊かな公園がほしい！



〈ワードクラウド〉

〈年代別の自由記述頻出語〉



頻出割合	小5	小6	中1	中2	中3
高	公園	公園	公園	公園	公園
	自然	子ども	ゴミ	子ども	子ども
	やさしい	やさしい	子ども	自然	きれい
	子ども	緑	ボール	ボール	学校
	犯罪	ボール	自然	環境	治安
	楽しい	自然	きれい	治安	安全
	緑	環境	やさしい	安全	ボール
	高齢者	安全	場所	やさしい	浦田
	きれい	場所	犯罪	学校	教育
	ボール	犯罪	緑	教育	高齢者

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成

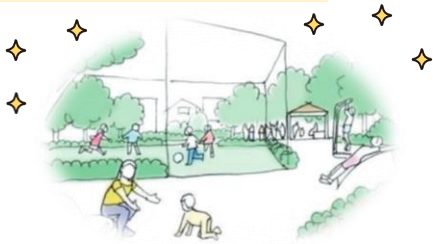
※ワードクラウド

テキストデータの中の単語を出現頻度に合わせて
 大きさをつけて視覚化する手法

基本目標④リーディング・プロジェクト

だれもが訪れたいくなる公園・緑地づくり

●公園の将来像を検討 新



基本構想のアンケート結果を踏まえ、大田区の公園の「めざすべき姿」を設定する計画「(仮称)パークマネジメントマスタープラン」策定に着手

●公園トイレ整備方針の策定 新



誰もが気持ちよく使える公園トイレの整備に向けた検討

●こどもから大人まで、多くの人に望まれる多様な特色を持つ公園づくり

本羽田第三公園



こどもがボール遊びできる公園

乳幼児を対象とした「子育てひろば」の整備



筋トレができる健康遊具の整備

六間堀緑地(R6年度整備予定)



こどもから大人まで使える複合健康遊具



【今後の展望】



2040

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 地域の特性を活かした、多様な特色を持つ公園が充実しています。

- (仮称)パークマネジメントマスタープラン策定に向けた検討
- 公園トイレの整備等を推進

令和6年度

令和7年度以降

水とみどりを活かしたまちづくり

【概要】

- 区内に残る貴重な水とみどりを未来に引き継ぎ、やすらぎを感じられるまちづくりを推進

●(仮称)グリーン基金の創設・運用に向けた検討

- ✓ 区民のみどりへの想いをより実現するため「(仮称)グリーン基金」を令和6年度に創設
- ✓ 寄付金の一部は所得税・住民税から控除

〈支援者〉



寄付

税制優遇！



みどりの
取組に充当



●みどりや水辺空間などの機能に着目した、グリーンインフラを推進

●呑川の水質改善

④ グリーンインフラとは

社会基盤施設(インフラ)に**自然環境(グリーン)**が持つ**機能を活用**し、まちづくりの課題解決をめざすこと

グリーンインフラの導入推進

- ✓ 公共施設整備に伴う
雨水貯留機能の充実
- ✓ 緑地の確保による
生物多様性の保全



- ✓ これまでの水質浄化対策に加え、**更なる水質の向上**に向けた調査・検討を実施**拡充**



既設浄化施設(呑川)

【今後の展望】

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 身近な場所でふれあえる水やみどりがあり、やすらぎを感じられるまちになっています。

2040

- ・ (仮称)グリーン基金の創設及び運用に向けた検討
- ・ グリーンインフラの推進

令和6年度

令和7年度以降

空家等対策の推進

【概要】

- 管理不全の空家は生活環境の様々な面において深刻な影響を及ぼすため、空家の実態・意向調査を実施し、管理不全な空家の適正な管理と利活用を推進
- 東京工業大学と連携し、先進的な空家対策を実施
- 著しく危険な状態となった空家に関しては危険を取り除く取組を実施

空家の現状把握

●空家の実態・意向調査 拡充

アンケート

指導・助言



- ✓ 空家の最新の状態を把握
- ✓ 空家所有者等のニーズや課題を調査し、今後の空家施策の検討に活用

●空家対策における産学連携



東京工業大学と連携し、人工知能(AI)を活用し、空家を迅速に発見

学生が360度カメラを付けた自転車を走らせ、AIに空家を判定させる実験を実施



現状を踏まえた空家対策

●空家の適正管理



- ✓ 防災・防犯・衛生面等の生活環境に深刻な影響を及ぼす空家の発生予防
- ✓ 緊急性のある危険な状態となった場合には危険を取り除き、区民の安全・安心を確保

●空家の利活用



空家総合相談窓口を通じて空家を貸したい人と借りたい人のマッチングを支援

最近のマッチング事例

約150㎡
の築40年
の空家

障がい者
グループホーム
として利活用

【今後の展望】

本取組が結びつく基本構想のまちの姿

- 安心して快適な住環境の整備により、ずっと住み続けたいまちになっています。

- 空家対策に向けた事業の推進
- 空家の地域貢献活用の推進

令和6年度

令和7年度以降

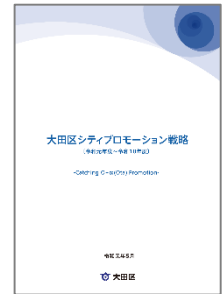
シティプロモーションの推進

【概要】

- ・ 令和5年度策定の大田区基本構想を踏まえ、「大田区シティプロモーション戦略」を改定する
- ・ 区民・区外在住者等が将来にわたって愛着や誇りを持てる区をめざすため、区の多様な魅力や重要施策を区内外に、より一層発信する

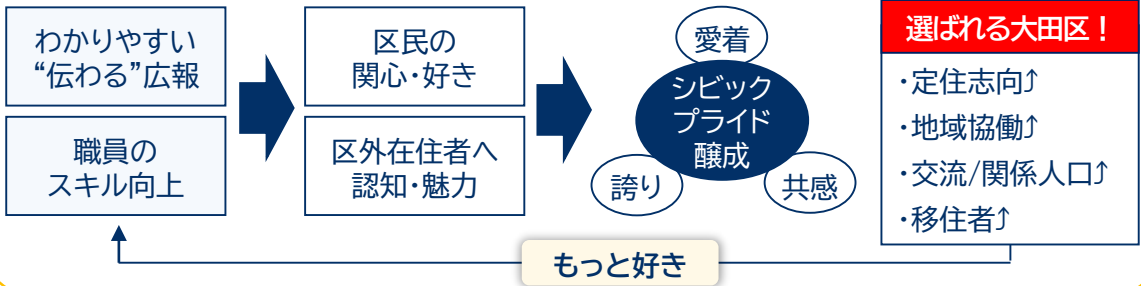
●「大田区シティプロモーション戦略」の改定 **新**

- ✓ 「大田区シティプロモーション戦略」(計画期間:令和元年~10年度)及びアクションプランに基づき、区の多様な魅力や地域資源を総合的に区内外にPR
- ✓ 令和5年度策定の大田区基本構想を踏まえ、区の認知度やブランドイメージを向上させ、国内外から選ばれる自治体をめざすための取組を推進
⇒「大田区シティプロモーション戦略」を改定



■ 改定の方向性

- ・ まちのブランディングの刷新
- ・ 情報発信の強化
- ・ ターゲットの明確化
- ・ 庁内推進体制の拡充



●シティプロモーションの取組の強化

- ✓ 区の多様な魅力や重要施策を区内外により一層発信し、シティプロモーションを推進する

<具体的な取組の例>

- ・ **有料広告の実施** **新**
- ・ **区政情報の動画発信を強化** **拡充**



【今後の展望】



- ・ 「大田区シティプロモーション戦略」の改定
- ・ シティプロモーションの取組の強化

令和6年度

令和7年度以降



窓口のデジタル化推進

【概要】

- 窓口のデジタル化を推進することにより、区民サービスを向上させるとともに、デジタル活用が困難な方にも丁寧でわかりやすい窓口サービスを提供する
- キャッシュレス決済やオンライン決済を拡充する
- 書かない・待たない・回らない・行かない窓口をめざし、行政手続のオンライン化を推進する

2040年を見据えたDXによる区民サービスの向上

●書かない・待たない・回らない・行かない窓口の整備

- ✓ [書かない]
 - ・申請書作成支援システムの導入(令和5年度より開始)
 - ・証明書自動出力機の活用
※マイナンバーカードの活用
- ✓ [待たない]
 - ・窓口混雑状況の見える化(令和5年度より開始)
- ✓ [回らない]
 - ・総合相談窓口開設に向けた検討開始
 - ・オンライン相談体制の拡充
- ✓ [行かない]
 - ・行政手続のオンライン化の推進 **拡充**



●キャッシュレス決済・オンライン決済の拡充

- ✓ 窓口キャッシュレス決済の **拡充**



- ✓ オンライン決済の **拡充**



●行政手続のオンライン化 **拡充**

■ = 手続数

101

目標:オンライン化
未対応の70%以上
2,555

目標:すべての手続の
オンライン化
3,744

令和6年

令和12年

令和22年

【今後の展望】

2040

- 子育て・介護等の計26手続のオンライン化
- オンライン申請ツールの拡充

令和6年度

令和7年度以降



区民活動団体等との連携・協働

【概要】

- 自治会・町会、NPO、区民活動団体などに対する、人材育成、団体支援等の各団体の連携・協働を促進する環境整備を行うことで、地域力を高める
- 区内の様々な区民活動団体やNPOの取組を区民に紹介し、地域活動参加のきっかけを作る

* 区民活動の育成と基盤づくり *

● NPO・区民活動フォーラム

- ✓ 区民活動団体やNPOなどの実践的な取組を紹介し、地域で活動する楽しさややりがいをPRする年1回のイベント
- ✓ 参加団体間の交流促進を目的とした交流会を開催



● 区民活動コーディネーター養成講座

- ✓ 自治会・町会に加え、専門性を持つ団体、NPOや事業者など、地域での連携・協働を推進するため「つなぎ役」となる人材を育成

● 区民活動コーディネーター養成講座

● つなぎ役交流会



* 団体支援とネットワークの強化 *

● 団体スキルアップ講座

- ✓ 長期的な視点での団体の経営スキル向上を目的とした講座を実施
- ✓ 団体の持続的な活動のための基盤づくりを育成・支援



「もっと楽しく」「安心して暮らす」ため、
地域力をより一層高め、地域の課題解決に対応！



【今後の展望】



- 区民活動の啓発
- 連携・協働推進のための人材育成
- 団体運営への支援

令和6年度

令和7年度以降



公民連携の推進

【概要】

- 行政と民間企業等が協働で公共サービスの提供を行う「公民連携」を推進する

公民連携の目的

区と企業等が持つ強みをそれぞれ掛け合わせ大田区をフィールドに新たな価値を共に生み出し、区民、企業等、区のそれぞれにメリットがある「**真の三方良し**」を実現すること

真の三方良しの実現に向け、令和6年2月までに計19団体と包括連携協定を締結

●企業と連携した取組例

- 株式会社セブンイレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂との連携イベント「大田区ナナハト学校」をイトーヨーカドー大森店にて開催



- 鉄道事業者と連携して、駅を中心としたエリアリノベーションを実施



●大学と連携した取組例

- 東邦大学と連携し、「地域における感染症対策エキスパート人材育成プログラム」として、区職員を対象に演習・講義を開催
- 組織における持続可能な感染症対策を構築できるリーダーを育成し、区民サービス向上
- 令和6年度からは、感染症も含んだ健康分野全般に講義内容を拡充



●大田区公民連携SDGsプラットフォーム

大田区と民間企業、民間企業同士をマッチングして、地域課題の解決を図る取組

公民連携の意欲を有する企業・団体



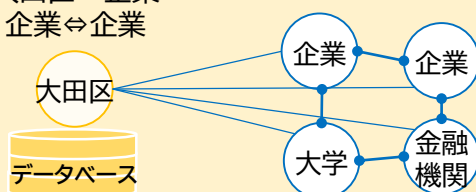
エントリーシート

- 自社の強み
- 注力しているゴール
- 区と連携したい分野
- 他企業と連携したい取組 etc.

マッチング

大田区⇄企業
企業⇄企業

地域課題解決

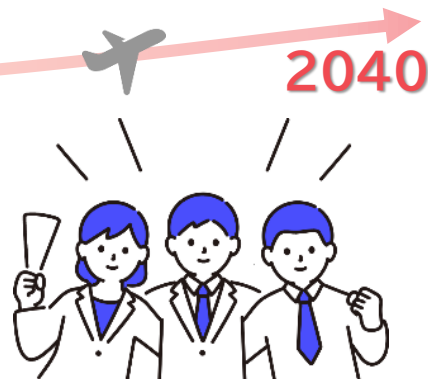


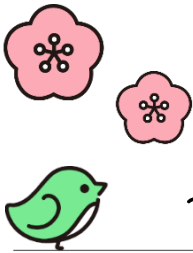
【今後の展望】

- 鉄道事業者との連携による駅を中心としたエリアリノベーション実施

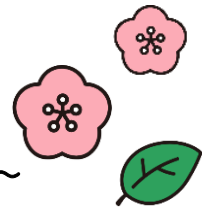
令和6年度

令和7年度以降





大田区基本構想の実現に向けた
リーディング・プロジェクト



～新おおた重点プログラム令和6年3月更新～

令和6年(2024年)3月

発行 大田区企画経営部

〒144-8621

東京都大田区蒲田五丁目13番14号

電話:03-5744-1735(直通)

FAX:03-5744-1502

<https://www.city.ota.tokyo.jp>